

は　じ　め　に

昭和 23 年 4 月、1 台の救急車により開始した本市の救急業務は、市民に欠くことのできない行政サービスとして定着し、令和 4 年 3 月 1 日現在、消防局、25 消防署、26 出張所に 70 救急隊を分散配置し、各種の救急需要に備えています。

近年、高齢化の進展などにより、救急出場件数は右肩上がりが増加し続けていたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和 2 年の救急出場件数は平成 26 年以降初の減少に転じた。令和 3 年は 21 万 8,050 件と令和 2 年から微増傾向であるが、搬送人員にあっては減少となり、17 万 4,696 人となりました。これは救急車が 2.4 分に 1 件出場し、市民 15.7 人に 1 人が救急車によって医療機関等へ搬送されたことになります。

こうした中で、平成 8 年度に救急救命士の常時乗車体制を確立するとともに、メディカルコントロール体制のもと、医師や指導救命士による救急救命士の生涯教育体制や事後検証体制の確立など、救急業務の質的向上を図っています。

平成 21 年 10 月には「救急安心センター」を開設し、専用回線（＃7119 つながらない場合は、06 - 6582 - 7119）を設けて看護師が医師の支援体制のもと 24 時間・365 日、市民の方からの救急医療相談や救急病院の問合せなどに対応しており、救急医療相談の結果、緊急性の高い症状の場合には、速やかに救急車を出場させる体制を整備しています。

救命効果の向上を図るため、平成 6 年度から救命講習会を開催してきましたが、より受講しやすい体制として繰り返し学んでいただくために、パソコンやスマートフォンで学べるWEBサイトを平成 24 年 10 月に開設しました。また、119 番受信時に指令係員が応急手当の方法を指導するなど、救命効果を高めるための取組みを行っています。

さらに、救急活動記録等のデータを分析し、ケガや病気の発生原因や傾向、予防策などを市民の方に情報提供し、「少しの注意と心がけ」で事故や病気を未然に防ぐことを目的として「予防救急」の普及啓発に努めています。

平成 25 年 2 月、救急隊がスマートフォンアプリを用いて、リアルタイムに医療機関の受け入れ情報を受信するとともに、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」を導入し、迅速かつ的確な傷病者の搬送に努めています。

一方で、ICT に関する取組を実施しており、平成 27 年 9 月から、子供が突然の病気やケガをした場合に自ら緊急性の判断ができる「小児救急支援アプリ」を、平成 30 年 4 月から、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当の実施を支援することができる「救命サポートアプリ」を運用しています。

今後も、消防と医療機関だけでなく、市民の皆さんとともに尊い命を守るための体制づくりや、救急業務の推進に一層の努力を傾注し、市民の皆さんの信頼と期待に応えていきます。

ここに、令和 3 年中の救急業務の実態をまとめましたので、より多くの皆さんに救急業務を理解していただくためにご活用いただければ幸いです。

令和 4 年 3 月

大 阪 市 消 防 局

目 次

救 急 体 制 等

1. 救急体制の現況	3
2. 救急医療体制の現況	4
3. 救急医療情報	4
4. 救急隊員の教育等	5
5. 救急救命士制度の運用	6
6. 指導救命士制度の運用	7
7. 応急手当の普及啓発	8
8. 救急安心センターおおさか	10
9. 小児救急支援アプリ	11
10. 救命サポートアプリ	11
11. 予防救急	12
12. 患者等搬送事業の認定と指導	12
13. 関係機関等との協調	12
図1 救急医療情報システム概要図	13
表1 救急隊配置状況	14
表2 救急活動用資器材	15
表3 二次・三次救急医療機関	16
表4 初期救急医療機関	18
表5 休日・夜間緊急歯科診療所	18
表6 二次・三次救急医療機関の推移	18

救 急 活 動

1. 救急活動状況	21
2. 事故種別救急活動状況	22
3. 救急救命士活動状況と救命率	24
4. 救急出場件数の高順位	26
5. 時間別出場件数	27
6. 救急活動所要時間	28
7. 程度別搬送状況	29
8. 性別・年齢層別搬送状況	30
9. 医療機関開設主体別搬送状況	32
10. 転院搬送状況の推移	32
11. 転送状況の推移	33
12. 要保護傷病者搬送状況の推移	34

救 急 安 心 セ ン タ ー お お さ か

1. 救急安心センター利用状況	37
2. 医療機関案内の診療科目別状況	38

3. 救急医療相談状況	39
-------------	----

統 計 表

(参考) 事故種別区分表	42
第1表 事故種別救急活動状況	43
第2表 隊別救急活動状況	44
第3表 月別救急活動状況	46
第4表 月別出場件数及び搬送人員	47
第5表 行政区別救急活動状況	48
第6表 平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員	50
第7表 曜日別、時間別出場件数及び搬送人員	52
第8表 事故種別出場件数及び搬送人員	54
第9表 日別出場件数	55
第10表 発生場所別救急活動状況	56
第11表 活動区分別出場件数	57
第12表 理由別不搬送件数	57
第13表 医療機関開設主体別搬送人員	58
第14表 傷病程度別搬送人員	59
第15表 診療科目別搬送人員	59
第16表 傷病種別搬送状況	60
第17表 年齢層別搬送人員	62
第18表 性別、事故種別搬送人員	62
第19表 所要時間別搬送人員	63
第20表 転院搬送人員	63
第21表 理由別転院搬送人員	63
第22表 診療科目別転送状況	64
第23表 理由別転送回数	64
第24表 回数別転送状況	64
第25表 要保護傷病者搬送状況	65
第26表 救急車走行距離及び所要時間	66
第27表 覚知方法別受信件数	68
第28表 P A連携活動支援種別状況	68
第29表 他市町村との協力状況	68
第30表 応急手当普及啓発の実施状況	68
第31表 救急活動状況の推移	69
第32表 年別救急活動状況	70

参 考 資 料

昭和 50 年以降の特異救急事故	73
大阪市消防（救急関連）のあゆみ	75

※数値は、少数点第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が異なる場合があります。

救 急 体 制 等

1. 救急体制の現況

大阪市の推計人口（令和3年12月1日）

人	口	2, 7 4 8, 8 3 9人
面	積	2 2 5. 3 3 k m ²

救急業務実施体制（令和4年3月1日）

救 急 隊 数	7 0 隊
救 急 隊 員	6 9 5 人

救急活動状況（令和3年中）

出 場 件 数	2 1 8, 0 5 0 件
搬 送 人 員	1 7 4, 6 9 6 人

当局では、救急部救急課において、救急業務に係る企画及び調査に関すること、救急隊の運用に関すること、救急医療機関等との連絡調整に関すること、予防救急や応急手当の普及啓発に関すること、救急車及び救急資器材に関することなど、救急に関する事務を所管し、救急事案の通報の受信、出場指令、その他救急活動に関する管制業務は警防部司令課が所管している。

救急隊は、令和4年3月1日現在、消防局、25 消防署、26 出張所に 70 隊を配置して、市民の救急要請に応えるとともに、救急救命士の計画的な養成を行い、全救急隊に常時乗車する体制を確立し、平成 29 年 6 月から、消防隊が行う救急隊との連携活動（PA 連携活動）に、心肺機能停止傷病者の救急要請時に自動体外式除細動器（AED）を積載する消防隊が救急隊と同時出場し、早期の電気ショックを含む応急処置の実施及び救急隊の救急救命処置を支援する活動（救命連携活動）を加えることによって救急活動の充実強化を図り、救命効果の向上を目指す体制を構築した。

さらに、救急救命士の活動や拡大された応急処置等を的確に実施するため、常に最新の救急資器材の整備や見直しに努めている。

2. 救急医療体制の現況

市内の救急医療体制は、外来診療によって救急患者の医療を担当する初期救急医療機関、入院治療を必要とする救急患者の医療を担当する二次救急医療機関、複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する三次救急医療機関により構成されている。

【初期救急医療機関】 7 か所

- ・大阪市中央急病診療所、休日急病診療所（6 か所）

【二次救急医療機関】 93 か所

- ・救急病院、救急診療所

【三次救急医療機関】 6 か所

- ・救命救急センター

※二次・三次救急医療機関の内、5 医療機関が「二次救急医療機関かつ三次救急医療機関」であり、大阪市内の二次・三次救急医療機関数は 94 医療機関となる。（16 ページ表 3 参照）

3. 救急医療情報

救急医療情報は、昭和 54 年度から大阪府救急医療情報システムと当局の「消防指令情報システム」が接続されたことにより、医療機関に設置された大阪府救急医療情報システムの端末機から入力された医療情報を、中継コンピューターを介して当局のシステムに導入し、活用している。

その情報内容は、診療科目（30 科目）ごとの診療可否状況、男女別空床の有無及び手術の可否状況であり、医療機関が診療態勢変更のつど入力することで最新の情報を得ることができる。

大阪市内の医療情報は端末機が設置されている市内の 94 医療機関をはじめ、大阪府内全域の主要な医療機関を含めた、286 医療機関の情報を入手している。

また、救急隊は平成 25 年 2 月より、スマートフォンを活用し、大阪府内で統一された「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」の運用を行っており、医療機関情報をリアルタイムで入手して活動している。

4. 救急隊員の教育等

当局における救急隊員の養成は、救急業務法制化当時から行ってきたが、平成3年の救急救命士法の施行及び消防学校の教育訓練の基準等の一部改正に伴い、救急隊員教育の充実を図っている。

また、救急隊員教育の更なる充実を図るため、大阪府医師会をはじめとする関係機関の協力のもと、平成15年2月に大阪市地域メディカルコントロール協議会（現：大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会）が発足し、救急救命士養成教育や生涯教育、救急活動の事後検証体制などの救急隊員教育全般の整備を図り、充実強化に努めている。特に、救急救命士の生涯教育については、単位制を導入し病院実習を中心に救急専門医の指導のもと、症例検討会、集中講義、救急救命技術研修会等を実施している。

(1) 救急教育実施状況（令和3年度中 ※修了見込み人員を含む）

ア 救急隊員資格教育	133 名
イ 救急救命士資格取得教育（養成期間：令和2年9月～令和3年3月） （他都市の救急隊員 70 名を含む）	100 名
ウ 気管挿管病院実習	14 名
エ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習	16 名

(2) 救急救命士等の隊員教育（令和3年度中）

ア 症例検討会（4か所の救急医療機関で実施）
イ 集中講義（5回）
ウ 生涯教育病院実習（当務） （1年間で24時間の病院実習を6か所の救急医療機関で実施）
エ 生涯教育病院実習（日勤） （1年間で日勤2日間の病院実習を1か所の救急医療機関で実施）
オ 救急救命技術研修会
カ 学術集会等への参加 （全国救急隊員シンポジウム、日本臨床救急医学会、近畿救急医学研究会等への参加）
キ 指導救命士による実地研修（On the Job Training）
ク 指導救命士による救急隊員研修（日勤研修）

5. 救急救命士制度の運用

当局では、平成4年7月1日に41名の救急救命士が活動を開始し、令和4年3月1日現在、救急救命士数は615名となっている。うち、461名の救急救命士が救急隊員として救急業務に従事しており、全救急隊に救急救命士が常時乗車する体制としている。

また、救急救命士法施行規則等関係法令の一部改正に伴い、救急救命処置のなかでも特に高度な処置である気管内チューブによる気道確保については平成16年7月から、薬剤（アドレナリン）投与については平成18年4月から、所管省庁通知に定められた講習及び病院実習を修了する等の諸条件を満たした救急救命士が、医師の具体的指示下で行えることとなった。

令和4年3月1日現在、薬剤（アドレナリン）投与を行うことが認定された救急救命士は532名、そのうち330名は気管内チューブによる気道確保も行えるものとして認定されている。

さらに、平成26年10月から、必要な講習を受けた救急救命士により、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を実施しており、478人の救急救命士が認定されている。

(1) 救急救命士が行う救急救命処置

ア 救急隊員であれば行うことができる処置

イ 医師の包括的な指示の下で行うことができる処置

- 自動体外式除細動器（AED）による除細動
- 自己注射が可能なエピペン®製剤によるエピペン®投与
- 血糖測定器を用いた血糖測定など

ウ 医師の具体的な指示の下で行うことができる処置

（ア）心肺機能停止状態の傷病者に対して行う処置

- 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスクまたは気管内チューブによる気道確保（ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管を含む）

※食道閉鎖式エアウェイまたはラリングアルマスクによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が呼吸機能停止状態又は心臓機能停止の状態であること。また、気管内チューブによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止状態及び呼吸機能停止の状態であること。

- アドレナリンを用いた薬剤の投与

※アドレナリンを用いた薬剤の投与は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止の状態であること。

（イ）心肺機能停止前の傷病者に対して行う処置

- 重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液
- 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

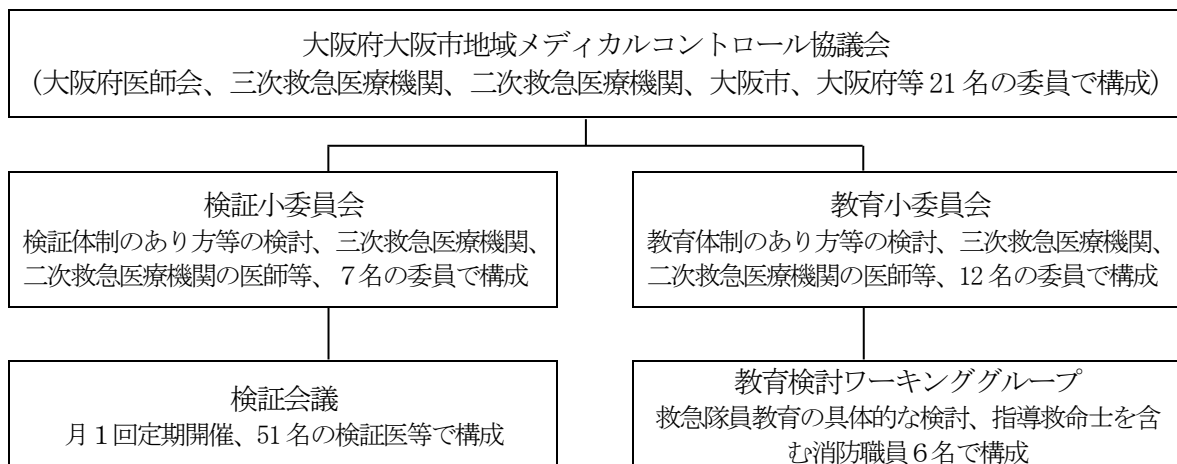
(ウ) 指示医療機関

- 大阪市立総合医療センター
- 大阪市立大学医学部附属病院
- 大阪急性期・総合医療センター
- 大阪赤十字病院
- 大阪警察病院
- 国立病院機構大阪医療センター
- 大阪大学医学部附属病院

(2) メディカルコントロール体制

メディカルコントロールとは、医学的な観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証することを言い、応急処置の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大等、大阪市域における救急業務の更なる高度化を図ることにより、傷病者の救命効果の向上を目指すものである。そのために、当局では次の4つの項目を整備し、メディカルコントロールの確立を図っている。

- ① プロトコルの作成
- ② 医師から救急隊員に対する指示、指導・助言体制
- ③ 医師による救急活動の医学的な観点からの事後検証体制
- ④ 救急救命士の生涯教育体制



6. 指導救命士制度の運用

指導救命士とは、救急業務に関する十分な知識、技術及び経験を有し、医療と連携を図り救急隊員教育を行うことができる救急救命士として、大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会から認定を受けた者である。また、メディカルコントロール体制の中で、救急救命士を含む救急業務に従事する職員への教育・指導、メディカルコントロール協議会及び医療機関との調整等の役割を担い、救急業務全体の質の向上に寄与している。当局では、平成29年5月から運用を開始し、令和4年3月1日現在、14名の指導救命士が活動している。

7. 応急手当の普及啓発

(1) 応急手当普及啓発実施状況

当局では、平成6年度から傷病者の救命効果の向上を図るため、普通救命講習（3時間）、上級救命講習（8時間）及び応急手当普及員講習（24時間）の講習会を開催し、応急手当に関する知識と技術の普及啓発を実施している。

応急手当の着手率アップが救命率向上に有用であることから、受講しやすい体制を整備することや、受講者のすそ野を広げ（概ね10歳以上）、幅広い年代層が繰り返し応急手当を学べる環境をつくることを目指して、胸骨圧迫やAEDに要点を絞った「救命入門コース（90分）」を平成24年11月から開始し、さらに、パソコンやスマートフォンの画面を操作することで、応急手当の知識や手順を学べる体験型アプリを作成し、平成24年10月からWEB公開（令和4年2月末で延べ約3,000万アクセス）するなど、積極的な普及啓発活動に努めている。

【WEBサイト『ボジョレーに教わる救命ノート』 <https://www.119aed.jp>】

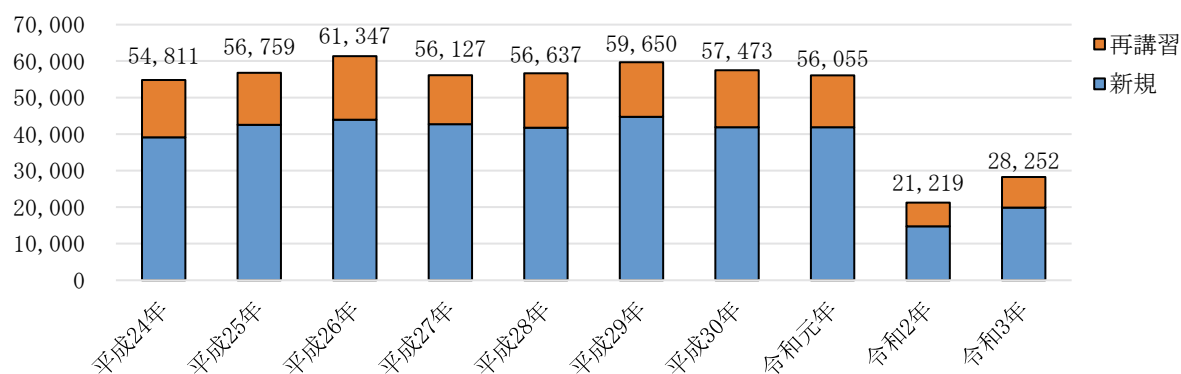
令和3年中 応急手当講習実施状況

講習種類	実施回数(回)	新規(人)	再講習(人)	年中延べ(人)	延受講者(人)
計	1,945	19,888	8,364	28,252	1,252,804
救命入門コース	140	2,135	—	2,135	54,400
普通救命講習	715	6,170	2,466	8,636	845,904
上級救命講習	62	696	178	874	31,710
応急手当普及員講習	35	461	—	461	15,384
応急手当普及員再講習	73	—	1,035	1,035	20,059
応急手当普及員が実施した講習	918	10,287	4,685	14,972	279,515
応急手当指導員講習	2	139	—	139	5,832

※年中延受講者数は、再受講者等を含む。

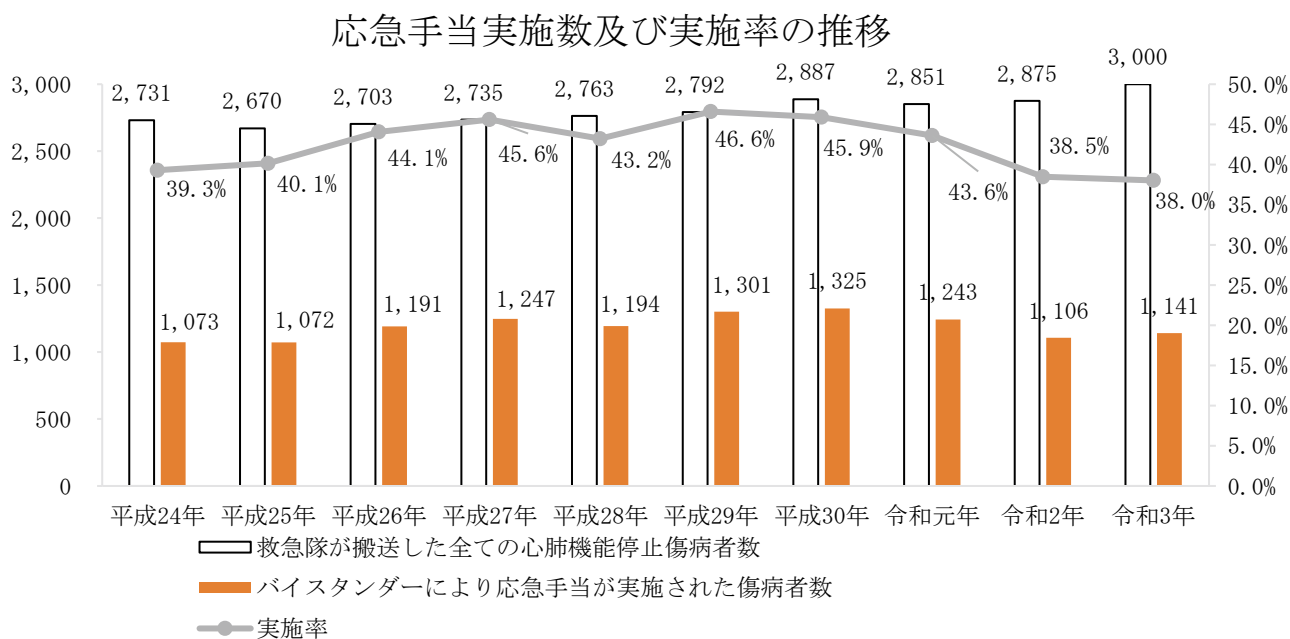
※延受講者数は平成6年4月1日から令和3年12月末までの総受講者数。

過去10年間における応急手当講習修了者数の推移

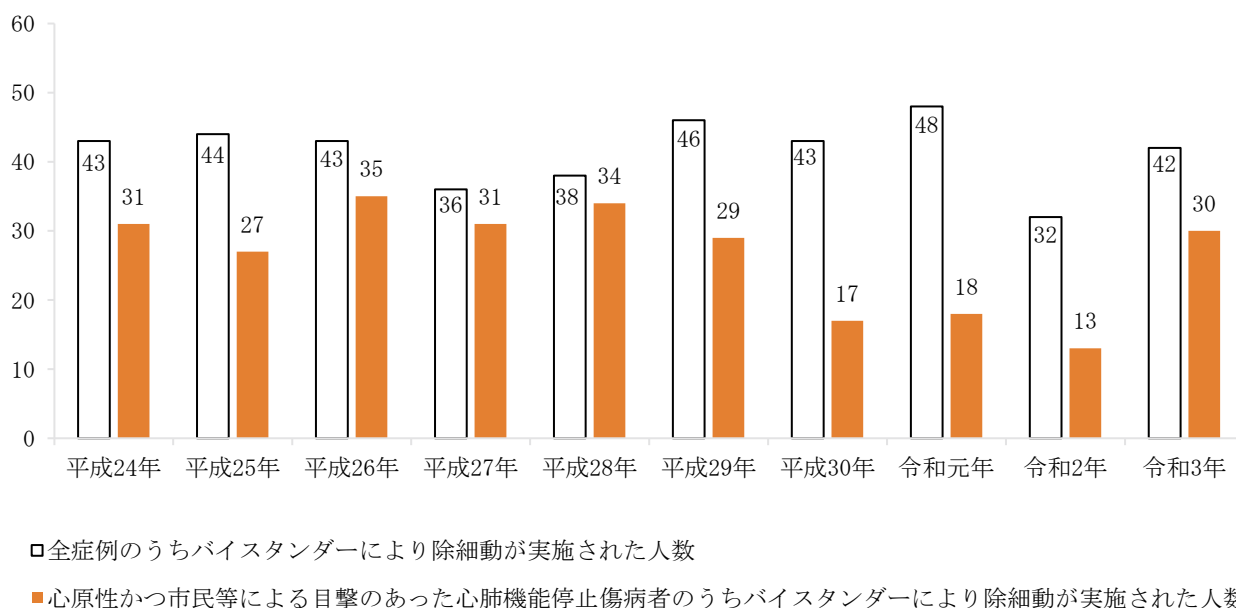


(2) 応急手当実施率

心肺機能停止傷病者の救命においては、救急隊が到着するまでの間に、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）により早期に応急手当が実施されることが重要である。令和3年中にバイスタンダーによる応急手当が実施された傷病者数は、救急隊が搬送した全ての心肺機能停止傷病者の38.0%に当たる1,141人となっている。



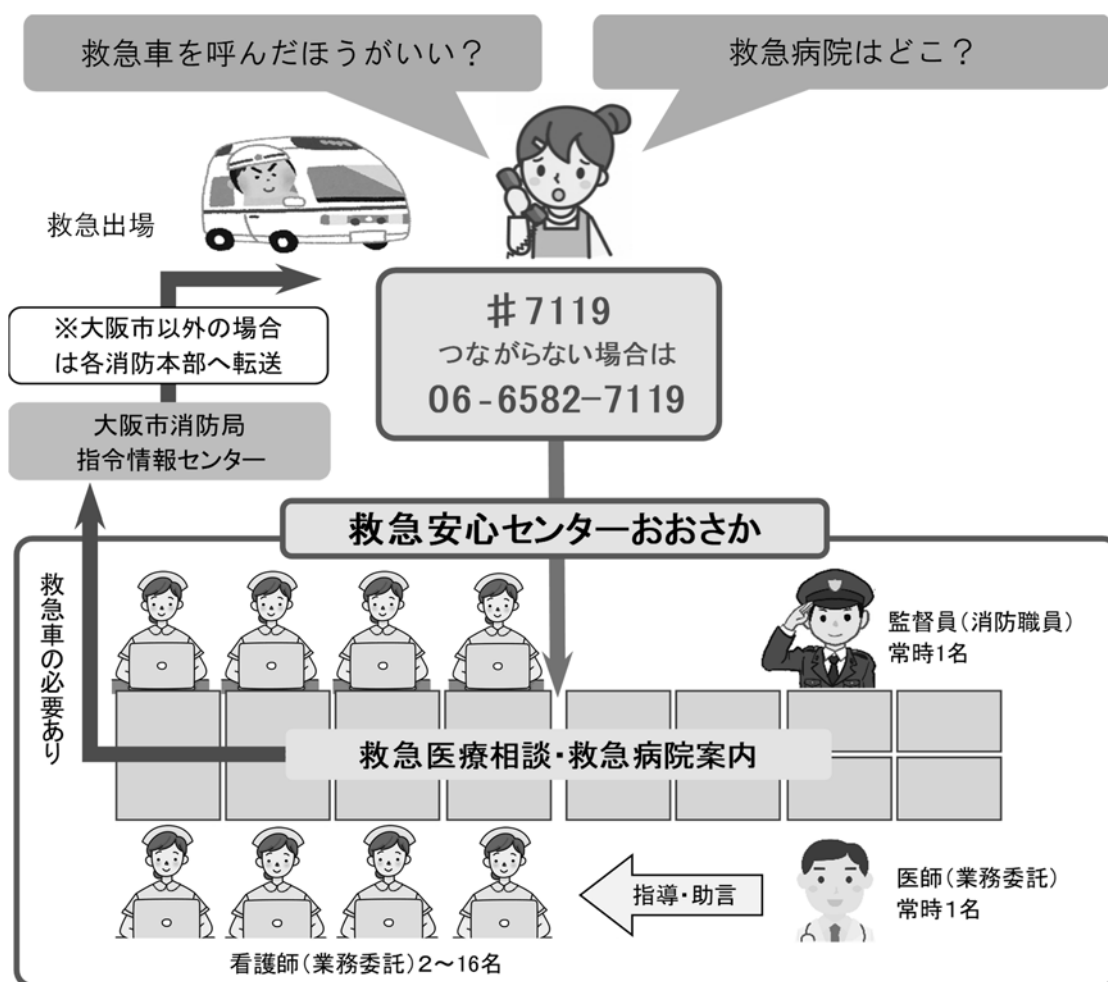
バイスタンダーによるAEDを使用した除細動実施数の推移



8. 救急安心センターおおさか

救急安心センターおおさかは、突然の病気やケガで、救急車を呼んだ方がいいのか？病院に行った方がいいのか？近くの病院はどこ？応急手当の方法は？など、判断に迷ったときにアドバイスを受けることができる電話相談窓口として、平成21年10月1日から大阪市消防局内に開設し、平成22年12月1日以降は、大阪府内全市町村の共同運営によって対象地域を大阪府内全域に拡大している。

救急安心センターおおさかでは、専用電話回線（#7119 つながらない場合は、06-6582-7119）により、大阪府域住民からの救急医療相談及び医療機関等の問合せに、開設以来、相談員及び看護師が医師の支援体制のもと24時間365日体制で対応してきたが、年々増加する救急医療相談に適切に対応するため、令和2年4月からはすべての着信に看護師が直接対応する体制に改めた。それにより相談時間が短縮され、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにすることに加え、住民が適切なタイミングで医療機関を受診できるよう支援することによって、自覚症状の乏しい潜在する重症者を救護し、一人でも多くの住民に安全・安心を提供している。



9. 小児救急支援アプリ

大切なお子様が突然の病気やケガをした場合に、市民が自ら緊急性の判断をできるようなシステムを構築することを目的に、下記の関係機関と共同でスマートフォン専用の無料アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を研究・開発し、大阪市内を対象地域として、平成 27 年 9 月 9 日から運用を開始した。

その後、平成 28 年 3 月 1 日から iOS 版の運用を開始し、平成 28 年 4 月 1 日からは、救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大している。

このアプリの特長としては、「救急車を呼んだ方がいい?」「近くの医療機関はどこ?」など困ったときに、アプリ画面に表示される症状をチェックすることで誰でも簡単に「緊急性」を判断することができ、緊急性が高い場合は 119 番通報を、また 119 番通報をためらった場合でも救急安心センターおおさかへ相談するよう促すなど利用者が次に取るべき受診行動に素早く誘導することができるというものである。さらに、緊急性が低い場合でも、症状に応じた近くの医療機関（大阪府内）を地図に表示して案内することができるものである。

（利用料無料、通信料別途必要）

<共同研究・開発機関>

◇ 大阪大学医学部 ◇ 大阪市立大学医学部

◇ 大阪市消防局 救急部救急課

〔平成 27 年度（一財）救急振興財団研究事業〕

利用状況（平成 27 年 9 月 9 日～令和 3 年 12 月 31 日）

ダウンロード数	アクセス数	アクセス後の行動内容						
		119 番	#7119	#8000	医療機関 検索	科目検索	様子を みる	合計
40,570	116,280	237	4,824	66	17,437	3,384	5,335	31,283

※「アクセス数」と「アクセス後の行動内容」の合計が一致しないのは、利用者がアクセスはしたものの、表記カテゴリーのボタンを押下する前に、アプリ操作を終了したことが原因であると推測される。

10. 救命サポートアプリ

心肺停止事案に遭遇した時に、ためらわずに正しい応急手当を実施できるように、その行動をサポートするツールがあればという職員の発案から生まれた無料アプリで、平成 30 年 4 月から Android 版、同年 6 月から iOS 版の運用を開始した。

アプリをスマートフォンにダウンロードしておく、2 タップで動画が再生され、映像と音声で応急手当の方法を案内してくれるので、画面を見ながら正しい応急手当を実施するこ

とができる。

成人、小児、乳児と3バージョンの動画があり、応急手当を行う対象者によって選択が可能である。

11. 予防救急

予防救急とは、高齢化の進展にともない救急件数が増加している中、安全だと思いがちな家庭内での転倒・転落によるケガや熱中症などの疾病を、「少しの注意と心がけ」で未然に防ぐことを目的としている。そのために救急隊の救急活動記録等のデータを分析し、発生原因や傾向、予防策を導き、ラジオや新聞をはじめとする様々な媒体や、救命講習会、防火訪問などの機会を通じて市民に情報提供し、さらなる安心・安全を推進する施策であり、あわせて救急出場件数の抑制も図っている。

12. 患者等搬送事業の認定と指導

患者等搬送事業は、救命処置など緊急性を必要とする消防の救急とは異なり、原則として緊急性を必要としない傷病者や障がい者、高齢者などに対し、民間の事業者が搬送用自動車を使用して移動手段を提供する事業である。

平成5年6月、当局は患者等の安全を確保するため、「患者等搬送事業の指導及び認定に関する要綱」を定めて、消防機関との連絡体制、乗務員に対する応急手当の講習、患者等搬送用自動車の構造など、一定の基準に適合する患者等搬送事業の認定を行うとともに必要な指導にあたっており、令和4年3月1日現在、25社を認定している。

なお、当局が認定した上記の事業所が利用者の安全とサービスの向上を目指して、平成6年11月1日に「大阪市患者等搬送事業者協会」を設立し、現在は5社が加盟している。

また、平成8年8月29日に当局と同協会の間で、「震災等大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定書」を締結し、大規模災害時の搬送体制の強化を図っている。

13. 関係機関等との協調

救急業務の円滑な推進を図るためには、消防機関、医療機関、他の行政機関等が一体となって協調することが必要である。

当局では、「大阪府救急医療対策審議会」、「大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会」「大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会」等に参画して、救急医療体制の整備及び、救急救命士をはじめとする救急隊員の教育等を検討する一方、大阪府医師会、大阪市救急医療事業団、日本赤十字社大阪府支部、その他関係機関と常に連絡調整を図っている。

図1 救急医療情報システム概要図

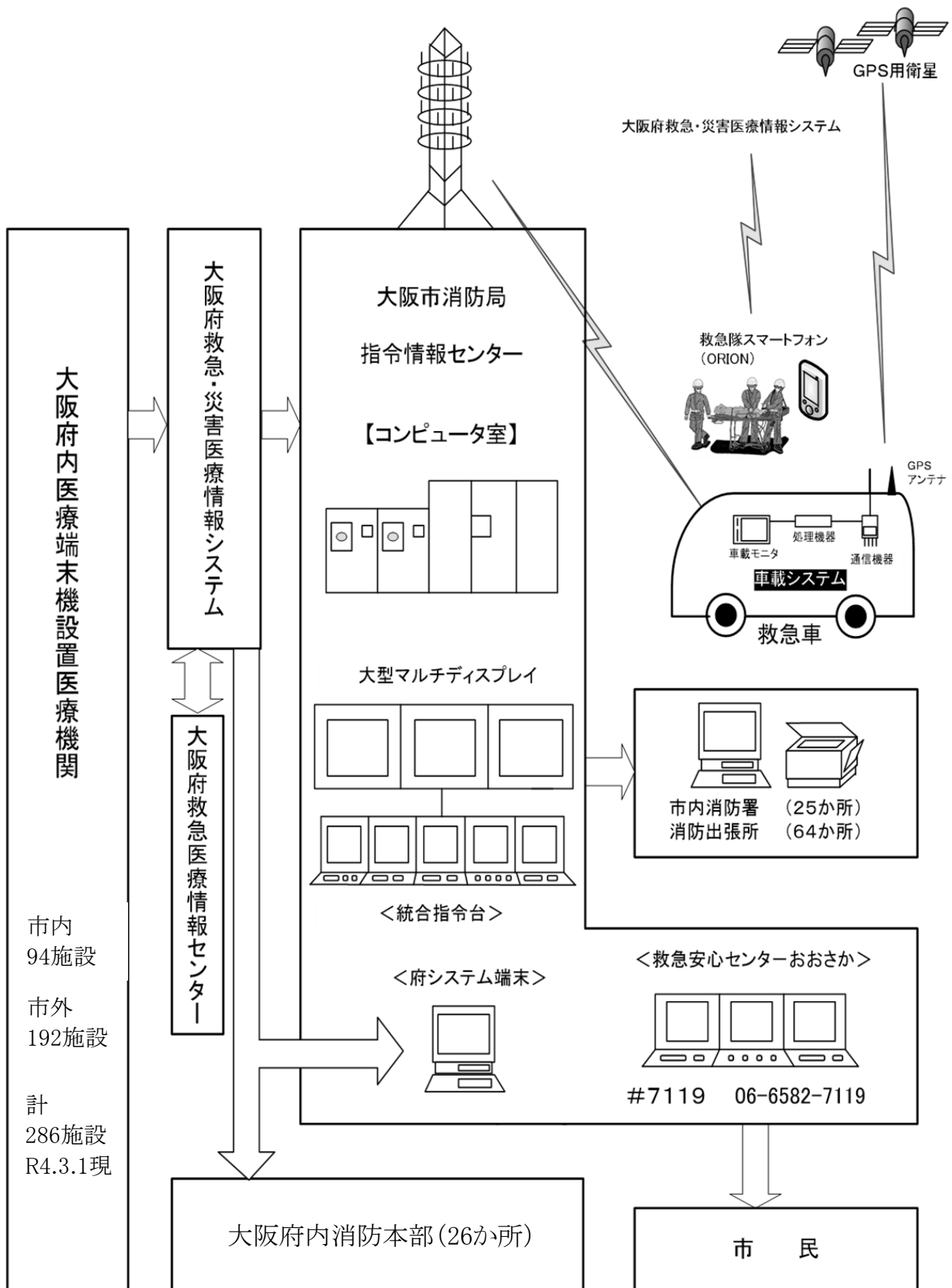


表1

救急隊配置状況(令和4年3月1日現在)

救 急 隊 名	配 置 署 所	救 急 隊 名	配 置 署 所
本 部 第 1 救 急 隊	消防局	東 成 第 1 救 急 隊	東成消防署
本 部 第 2 救 急 隊	消防局 九条庁舎	東 成 第 2 救 急 隊	〃
本 部 第 3 救 急 隊	〃	生 野 救 急 隊	生野消防署
北 救 急 隊	北消防署	中 川 救 急 隊	〃 中川出張所
南 森 町 救 急 隊	〃 南森町出張所	巽 救 急 隊	〃 巽出張所
浮 田 救 急 隊	〃 浮田出張所	旭 第 1 救 急 隊	旭消防署
大 淀 町 救 急 隊	〃 大淀町出張所	旭 第 2 救 急 隊	〃
都 島 第 1 救 急 隊	都島消防署	城 東 第 1 救 急 隊	城東消防署
都 島 第 2 救 急 隊	〃	城 東 第 2 救 急 隊	〃
東 野 田 救 急 隊	〃 東野田出張所	中 浜 救 急 隊	〃 中浜出張所
福 島 救 急 隊	福島消防署	鶴 見 第 1 救 急 隊	鶴見消防署
海 老 江 救 急 隊	〃 海老江出張所	鶴 見 第 2 救 急 隊	〃
此 花 第 1 救 急 隊	此花消防署	阿 倍 野 第 1 救 急 隊	阿倍野消防署
此 花 第 2 救 急 隊	〃	阿 倍 野 第 2 救 急 隊	〃
中 央 救 急 隊	中央消防署	阪 南 救 急 隊	〃 阪南出張所
道 頓 堀 救 急 隊	〃 道頓堀出張所	住 之 江 第 1 救 急 隊	住之江消防署
上 町 救 急 隊	〃 上町出張所	住 之 江 第 2 救 急 隊	〃
西 救 急 隊	西消防署	南 港 救 急 隊	〃 南港出張所
江 戸 堀 救 急 隊	〃 江戸堀出張所	住 吉 第 1 救 急 隊	住吉消防署
新 町 救 急 隊	〃 新町出張所	住 吉 第 2 救 急 隊	〃
港 救 急 隊	港消防署	荻 田 救 急 隊	〃 荻田出張所
大 正 救 急 隊	大正消防署	東 住 吉 第 1 救 急 隊	東住吉消防署
天 王 寺 第 1 救 急 隊	天王寺消防署	東 住 吉 第 2 救 急 隊	〃
天 王 寺 第 2 救 急 隊	〃	杭 全 救 急 隊	〃 杭全出張所
浪速本署第1救急隊	浪速消防署	平 野 第 1 救 急 隊	平野消防署
浪速本署第2救急隊	〃	平 野 第 2 救 急 隊	〃
恵 美 須 救 急 隊	〃 恵美須出張所	長 吉 救 急 隊	〃 長吉出張所
浪速出張所救急隊	〃 浪速出張所	喜 連 救 急 隊	〃 喜連出張所
西 淀 川 救 急 隊	西淀川消防署	西 成 第 1 救 急 隊	西成消防署
大 和 田 救 急 隊	〃 大和田出張所	西 成 第 2 救 急 隊	〃
淀 川 第 1 救 急 隊	淀川消防署	海 道 第 1 救 急 隊	〃 海道出張所
淀 川 第 2 救 急 隊	〃	海 道 第 2 救 急 隊	〃 海道出張所
加 島 救 急 隊	〃 加島出張所	津 守 救 急 隊	〃 津守出張所
東 淀 川 救 急 隊	東淀川消防署	水 上 救 急 隊	水上消防署
小 松 救 急 隊	〃 小松出張所		
西 淡 路 救 急 隊	〃 西淡路出張所		

表2

救急活動用資器材

分類	品名	分類	品名
観察用資器材	血圧計 血中酸素飽和度測定器 検眼ライト 患者監視装置 体温計 聴診器 血糖値測定器	保温・搬送用資器材	屈折担架(サブストレッチャー) 脚屈伸式ストレッチャー(メインストレッチャー) ターポリン担架 まくら タオルケット 保温用毛布 雨おおい
	手動引金式人工呼吸器一式 手動式人工呼吸器一式 自動式人工呼吸器一式 二連式流量計付加湿酸素吸入装置一式 経鼻エアウェイ 経口エアウェイ ラリングアルマスク 食道閉鎖式エアウェイ 気管内チューブ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 喉頭鏡 マギール鉗子 吸引器一式 呼気二酸化炭素測定器具	感染防止・消毒用資器材	手動式噴霧消毒器 救急車内消毒装置 陰圧式患者搬送器具一式 グルコン酸クロルヘキシジン液 消毒用エタノール液 塩化ベンザルコニウム液 クレゾール石けん液 次亜塩素酸ナトリウム液 手指消毒液
呼吸・循環管理用資器材	自動式心マッサージ器 心肺蘇生用背板 ショックパンツ 自動体外式除細動器 輸液・薬剤セット一式	その他の資器材	手袋 マスク N95マスク ゴーグル 膿盆 汚物入 手洗器 シューズカバー 臍帯クリップ 冷却剤
	陰圧副子 梯状副子 頸部固定用副子 バックボード スクープストレッチャー	資通信器材用	携帯無線機 車載無線機 携帯電話(スマートフォン端末)
創傷等保護用資器材	三角巾 止血帯 伸縮包帯 網包帯 救急タオル ばんそうこう ターニケット	資救器出材用	救命浮環
	滅菌ガーゼ 不織布ガーゼ ガーゼ	通信・救出用資器材	救急カバン リングカッター 防毒マスク 保安帽 防刃ベスト トリアージタグ はさみ ピンセット
	生理食塩水		

表3

二次・三次救急医療機関(令和4年3月1日現在)

医 療 機 関	所 在 地	医 療 機 関	所 在 地
北区 加納総合病院 北野病院 済生会中津病院 桜橋渡辺病院 住友病院 行岡病院	天神橋7-5-15 扇町2-4-20 芝田2-10-39 梅田2-4-32 中之島5-3-20 浮田2-2-3	港区 大阪みなと中央病院 大正区 済生会泉尾病院 ほくとクリニック病院 天王寺区 第二大阪警察病院 ◇大阪警察病院 ◇大阪赤十字病院 浪速区 愛染橋病院 富永病院 なにわ生野病院 西淀川区 千船病院 西淀病院 淀川区 大阪回生病院 貴生病院 北大阪病院 十三市民病院 東淀川区 医誠会病院 淀川キリスト教病院 東成区 外科野崎病院 弘善会矢木脳神経外科病院 中本病院 東成病院 朋愛病院	磯路1-7-1 北村3-4-5 三軒家西1-18-7 鳥ヶ辻2-6-40 北山町10-31 筆ヶ崎町5-30 日本橋5-16-15 湊町1-4-48 大国1-10-3 福町3-2-39 野里3-5-22 宮原1-6-10 西三国1-18-4 西宮原2-7-17 野中北2-12-27 菅原 6-2-25 柴島1-7-50 深江南2-20-15 東今里2-12-13 中道4-13-12 大今里西2-7-17 大今里1-25-11
都島区 □大阪市立総合医療センター 神原病院 協和病院 聖和病院 明生病院	都島本通2-13-22 高倉町1-10-5 東野田町5-2-25 中野町1-7-32 東野田町2-4-8		
福島区 JCHO大阪病院 関西電力病院 大阪整形外科病院 フジタ病院 松本病院	福島4-2-78 福島2-1-7 大開4-3-61 吉野2-10-11 海老江2-1-36		
此花区 大阪暁明館病院	西九条5-4-8		
中央区 ◇国立病院機構大阪医療センター 大手前病院 脳神経外科日本橋病院 原田病院 高津病院	法円坂2-1-14 大手前1-5-34 高津3-2-22 島之内2-17-15 瓦屋町3-2-7		
西区 大阪掖済会病院 大野記念病院 多根総合病院 日本生命病院 吉川病院	本田2-1-10 南堀江1-26-10 九条南1-12-21 江之子島2-1-54 九条南3-29-14		

(注) □印は、三次救急医療機関

◇印は、二次救急医療機関かつ三次救急医療機関

医 療 機 関	所 在 地	医 療 機 関	所 在 地
生野区 アエバ外科病院 生野中央病院 育和会記念病院 共和病院 松崎病院 村田病院	勝山南4-6-5 中川5-4-2 巽北3-20-29 勝山南4-16-10 新今里7-4-8 田島4-2-1	住吉区 あびこ病院 ◇大阪急性期・総合医療センター 阪和記念病院 阪和住吉総合病院 越宗整形外科病院	我孫子3-3-20 万代東3-1-56 荻田7-11-11 南住吉3-2-9 東粉浜3-26-6
旭区 大阪旭こども病院 福島病院 藤立病院 牧病院	新森4-13-17 千林2-4-22 大宮5-4-24 新森7-10-28	東住吉区 東住吉森本病院 東和病院	鷹合3-2-66 田辺4-13-15
城東区 済生会野江病院 サトウ病院 城東中央病院 東大阪病院 おおさかグローバル整形外科病院 森之宮病院	古市1-3-25 東中浜1-2-23 鴨野西5-13-47 中央1-7-22 関目6-15-30 森之宮2-1-88	平野区 植田産婦人科 正和病院 長吉総合病院 平野若葉会病院 緑風会病院	平野宮町2-8-8 瓜破東1-5-5 長吉長原 1-2-34 瓜破2-1-19 背戸口1-18-13
鶴見区 藍の都脳神経外科病院 コープおおさか病院 新協和病院 本田病院 和田病院	放出東2-21-16 鶴見3-6-22 今津南1-5-8 鶴見4-1-30 横堤3-10-18	西成区 杏林記念病院 思温病院 大和中央病院 愛壽記念病院 山本第三病院 まちだ胃腸病院	天下茶屋1-18-24 松1-1-31 長橋1-2-7 長橋3-6-45 南津守4-5-20 山王1-1-15
阿倍野区 ◇大阪市立大学医学部附属病院 相原第二病院 大阪鉄道病院	旭町1-5-7 阿部野筋3-12-10 松崎町1-2-22		
住之江区 南港病院 南大阪病院 友愛会病院	北加賀屋2-11-15 東加賀屋1-18-18 浜口西3-5-10		
計 94 か所			

表4

初期救急医療機関

(令和4年3月1日現在)

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
中央急病診療所	西区新町4-10-13 TEL 6534-0321	内・小	休日 土(祝・年末年始除く)	17～翌5:30
			平日	15～翌5:30 22～翌5:30
		眼・耳	休日 土(祝・年末年始除く)	10～21:30
			平日	15～21:30 22～翌0:30
都島休日急病診療所	都島区都島南通1-24-23 TEL 6928-3333	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
西九条休日急病診療所	此花区西九条5-4-25 TEL 6464-2111	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
十三休日急病診療所	淀川区十三東1-11-26 TEL 6304-7883	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
今里休日急病診療所	東成区大今里西3-6-6 TEL 6972-0767	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
沢之町休日急病診療所	住吉区千鉢2-2-6 TEL 6672-6021	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
中野休日急病診療所	東住吉区中野2-1-20 TEL 6705-1612	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
		小	平日	20:30～23

表5

休日・夜間緊急歯科診療所

(令和4年3月1日現在)

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
大阪府歯科医師会口腔 保健センター附属検査診 療所休日緊急診療所	天王寺区堂ヶ芝1-3-27 TEL 6772-8886(9:30～16) TEL 6774-2600(21～翌3:00)	歯科	休日昼間	9:30～16
			〃 夜間	21～翌3:00
			土(祝・年末年始除く)	21～翌3:00
			平日	21～翌3:00

表6

二次・三次救急医療機関の推移

(各年 3月1日現在)

年	救急医療機関
平成29年	94
平成30年	95
令和元年	94
令和2年	94
令和3年	94

救 急 活 動

1. 救急活動状況

(1) 救急活動状況の対前年比

令和3年中の出場件数は218,050件、搬送人員は174,696人で、前年に比べ出場件数は620件（0.3%増）の増加、搬送人員は1,937人（1.1%減）の減少となった。

区 分	令和3年	令和2年	対前年比	1日当り
出 場 件 数	218,050	217,430	620	597.4
搬 送 人 員	174,696	176,633	△1,937	478.6
医 師 搬 送 件 数	3	9	△6	0.0
資器材等輸送件数	2	3	△1	0.0
不 搬 送 件 数	43,855	41,291	2,564	120.2
市域内出場件数	218,005	217,384	621	597.3
市域外出場件数	45	46	△1	0.1

(2) 人口1万人当りの出場件数と搬送人員の推移

令和3年中に人口1万人当たりでは793.2件出場し、635.5人搬送している。これは、市民12.6人に1件出場し、15.7人に1人搬送したことになる。

年	出 場 件 数	搬 送 人 員
平成29年	844.1（11.8人に1人）	693.4（14.4人に1人）
平成30年	890.3（11.2"）	737.0（13.6"）
令和元年	894.5（11.2"）	742.3（13.5"）
令和2年	790.7（12.7"）	642.3（15.6"）
令和3年	793.2（12.6"）	635.5（15.7"）

2. 事故種別救急活動状況

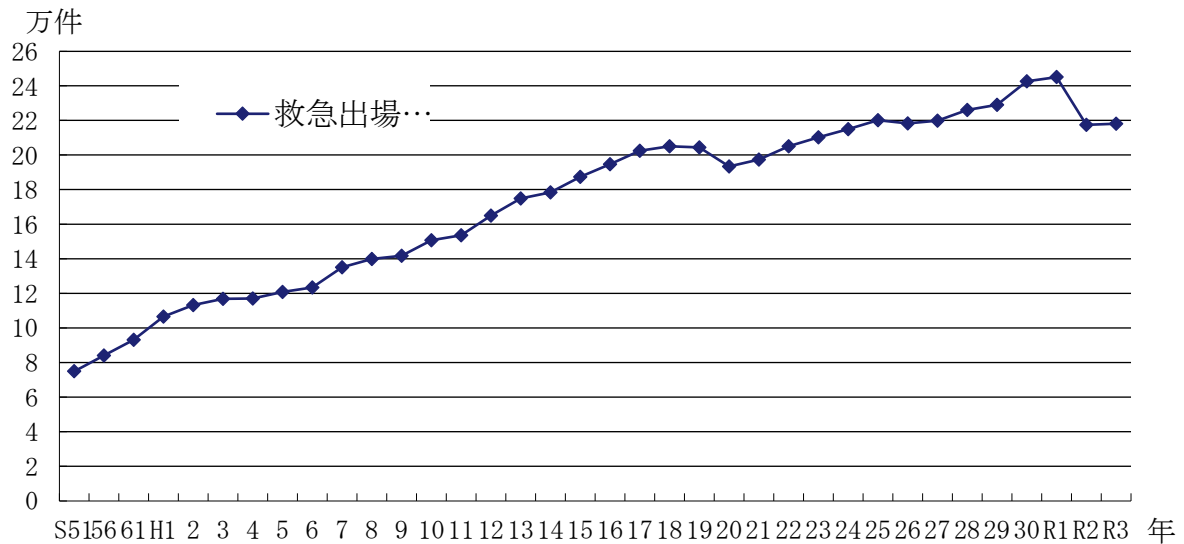
(1) 出場件数の対前年比

事故種別でみると、急病が149,956件と最も多く68.8%を占めており、次いで一般負傷35,724件(16.4%)、交通事故12,917件(5.9%)となった。なお、この3種別で198,597件出場し、全体の91.1%を占めている。

事故種別	令和3年		令和2年		対前年比	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
計	218,050	174,696	217,430	176,633	620	△ 1,937
	100%	100%	100%	100%		
火災	711	160	811	160	△ 100	0
	0.3%	0.1%	0.4%	0.1%		
自然災害	14	12	12	9	2	3
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
水難	84	33	95	23	△ 11	10
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
交通	12,917	10,566	13,047	10,741	△ 130	△ 174
	5.9%	6.0%	6.0%	6.1%		
労働災害	1,414	1,383	1,347	1,300	67	83
	0.6%	0.8%	0.6%	0.7%		
運動競技	629	616	580	568	49	48
	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%		
一般負傷	35,724	26,264	37,390	27,664	△ 1,666	△ 1,400
	16.4%	15.0%	17.2%	15.7%		
加害	1,968	1,175	2,224	1,382	△ 256	△ 207
	0.9%	0.7%	1.0%	0.8%		
自損行為	2,261	1,428	2,227	1,419	34	9
	1.0%	0.8%	1.0%	0.8%		
急病	149,956	121,533	147,098	121,756	2,856	△ 225
	68.8%	69.6%	67.7%	68.9%		
その他	12,372	11,525	12,599	11,611	△ 225	△ 84
	5.7%	6.6%	5.8%	6.6%		

(2) 救急出場件数の推移

救急出場件数は、令和3年は前年比0.3%増加し、218,050件となった。



(3) 事故種別搬送人員の推移

年	出場 件数 (件)	搬送 人員 (人)	内 訳 (人)										その他
			急病	一般 負傷	交通 事故	加害	自損	火災	労働 災害	運動 競技	水難	自然 災害	
平成29年	229,013	188,137	128,785	28,318	12,970	1,696	1,290	165	1,419	939	11	9	12,535
平成30年	242,612	200,822	139,223	30,060	12,821	1,724	1,229	186	1,645	984	36	177	12,737
令和元年	245,105	203,379	141,307	30,753	12,214	1,563	1,416	181	1,639	993	30	2	13,281
令和2年	217,430	176,633	121,756	27,664	10,741	1,382	1,419	160	1,300	568	23	9	11,611
令和3年	218,050	174,696	121,533	26,264	10,567	1,175	1,428	160	1,383	616	33	12	11,525

(4) 事故種別搬送人員構成比の推移

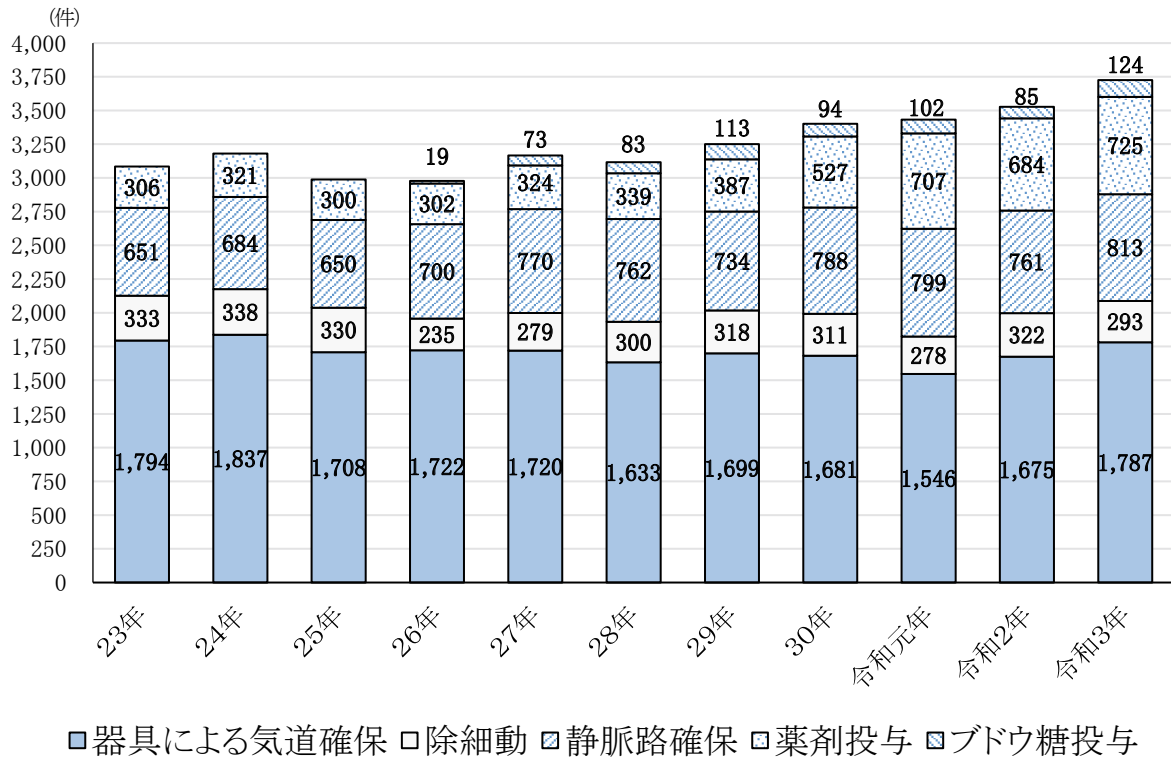
急病、一般負傷の割合が全体の84.6%を占めている。

	急病	一般負傷	交通事故	その他
平成29年	68.5%		15.1%	9.6%
平成30年	69.3%		15.0%	9.3%
令和元年	69.5%		15.1%	9.4%
令和2年	68.9%		15.7%	8.8%
令和3年	69.6%		15.0%	9.3%

3. 救急救命士活動状況と救命率

(1) 救急救命処置実施数の推移

令和3年中の「器具による気道確保」は1,787件、「除細動」は293件、「静脈路確保」は813件、「薬剤投与」は725件、「ブドウ糖投与」は124件、合計3,742件であった。



	計	器具による 気道確保	除細動	静脈路確保	薬剤投与	ブドウ糖 投与
平成23年	3,084	1,794	333	651	306	—
平成24年	3,180	1,837	338	684	321	—
平成25年	2,988	1,708	330	650	300	—
平成26年	2,959	1,722	235	700	302	19
平成27年	3,166	1,720	279	770	324	73
平成28年	3,117	1,633	300	762	339	83
平成29年	3,251	1,699	318	734	387	113
平成30年	3,401	1,681	311	788	527	94
令和元年	3,432	1,546	278	799	707	102
令和2年	3,527	1,675	322	761	684	85
令和3年	3,742	1,787	293	813	725	124

(2) 主な心肺機能停止前の救急救命処置実施状況

血糖測定器を用いた血糖測定 763 件

低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与 124 件

ショック及びクラッシュ症候群を疑う傷病者に対する静脈路確保及び輸液 20 件

(3) 心肺機能停止傷病者の生存率等の状況

令和3年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者のうち、心原性かつ市民により目撃のあった症例の1ヵ月後生存率は12.8%、1ヵ月後社会復帰率については8.7%となっている。

年	心原性かつ市民により 目撃のあった 心肺機能停止傷病者数 (人)	1ヵ月後 生存者数 (人)	1ヵ月後 生存率 (%)	1ヵ月後 社会復帰者数 (人)	1ヵ月後 社会復帰率 (%)
平成25年	633	86	13.6	59	9.3
平成26年	691	105	15.2	72	10.4
平成27年	744	122	16.4	94	12.6
平成28年	754	108	14.3	87	11.5
平成29年	741	119	16.1	91	12.3
平成30年	766	123	16.1	80	10.4
令和元年	750	114	15.2	79	10.5
令和2年	738	84	11.4	47	6.4
令和3年	743	95	12.8	65	8.7

4. 救急出場件数の高順位

救急出場件数については、救急隊別では、住之江1救急隊の出場が4,304件と最多で、1日平均では11.8件出場している。

行政区別では、西成区が18,154件と最多であり、1日当りの出場件数は49.7件であった。また、各区の平均出場件数は、8,720件であった。

日別では、12月30日が782件と最多であり、1日当りの平均出場件数は597.4件であった。

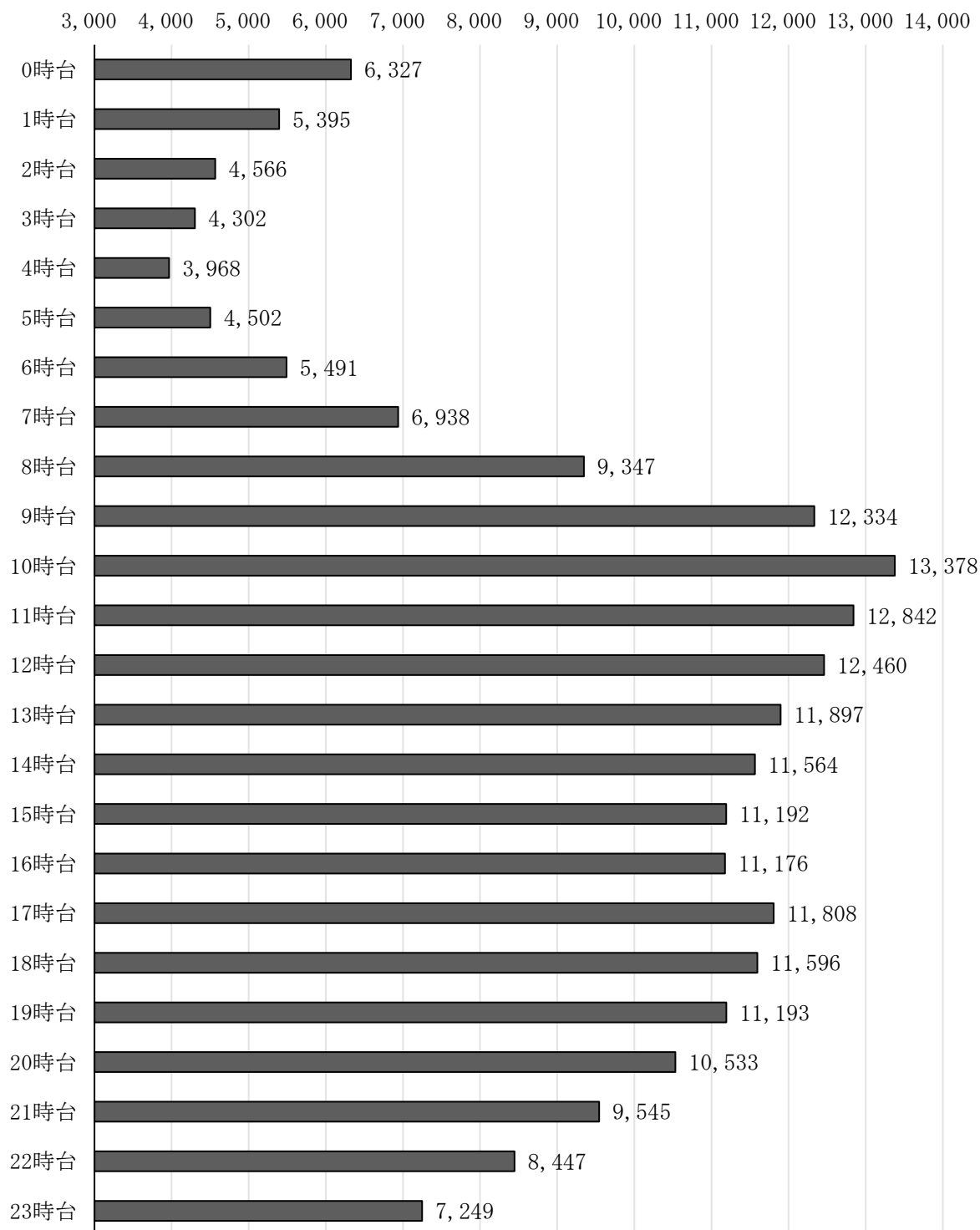
時間別では、10時台が13,378件と最多で1.6分に1件の出場となっている。

区 分	第1位	第2位	第3位	平均	備考
隊 別 出 場 件 数	住之江1	海道1	海道2		第2表
	4,304件	4,245件	4,185件	3,028件	参 照
(1日当りの出場件数)	(11.8)	(11.6)	(11.5)	(8.3)	
行政 区 別 出 場 件 数	西成区	北区	平野区		第5表
	18,154件	14,650件	14,381件	8,387件	参 照
(1日当りの出場件数)	(49.7)	(40.1)	(39.4)	(23.0)	
日 別 出 場 件 数	12月30日	12月27日	12月28日		第9表
	782件	756件	748件	597.4件	参 照
時 間 別 出 場 件 数	10時台	11時台	12時台		第6表
	13,378件	12,842件	12,460件	9,085件	参 照
(出 場 頻 度)	(1.6分に1件)	(1.7分に1件)	(1.8分に1件)	(2.4分に1件)	

5. 時間別出場件数

出場件数を時間別のグラフでみると、10 時台が最多となり、4 時台が最少となっている。

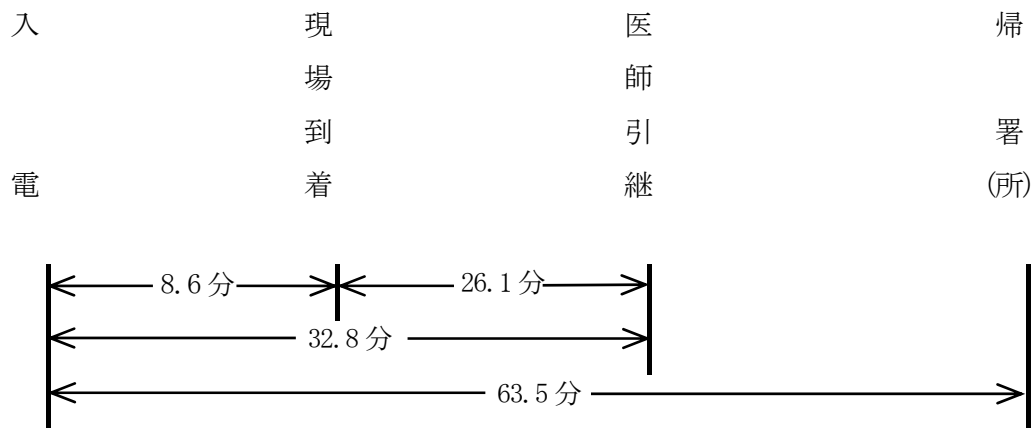
(単位：件)



6. 救急活動所要時間

(1) 入電から帰署までの平均所要時間

119番入電から救急現場到着、搬送先医療機関の医師に引継ぐまでの活動所要時間はそれぞれ9分、26分となっている。



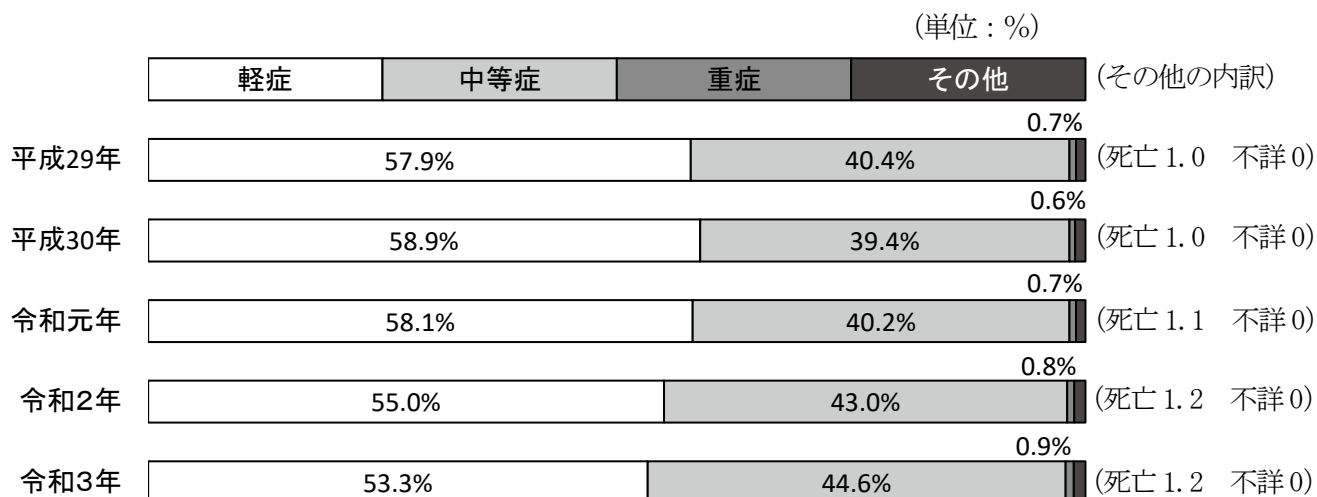
(2) 救急車が出場してから病院に到着するまでの時間別構成比の推移

(単位：%)

年	20分未満	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
平成29年	11.8	42.8	41.9	3.2	0.3
平成30年	11.7	43.2	41.8	3.1	0.2
令和元年	12.2	43.7	40.9	3.0	0.2
令和2年	3.2	33.2	57.3	5.9	0.5
令和3年	6.7	35.9	50.2	6.1	1.1

7. 程度別搬送状況

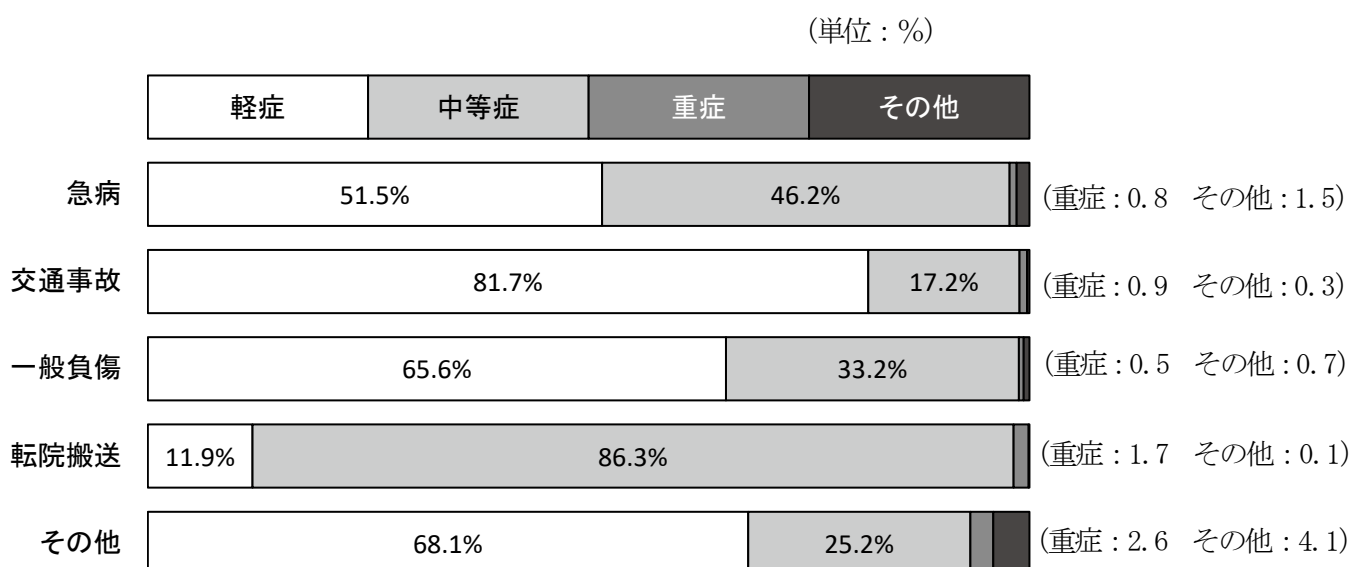
(1) 搬送人員構成比の推移



(2) 事故種別搬送人員の構成比

搬送人員を事故種別で見ると、交通事故、一般負傷では軽症の割合が高く、それぞれ81.7％(8,636人)、65.6％(17,226人)を占めている。

一方、急病では軽症の割合は51.5％(62,620人)と交通事故、一般負傷に比べて低く、中等症については46.2％(56,170人)と高くなっている。

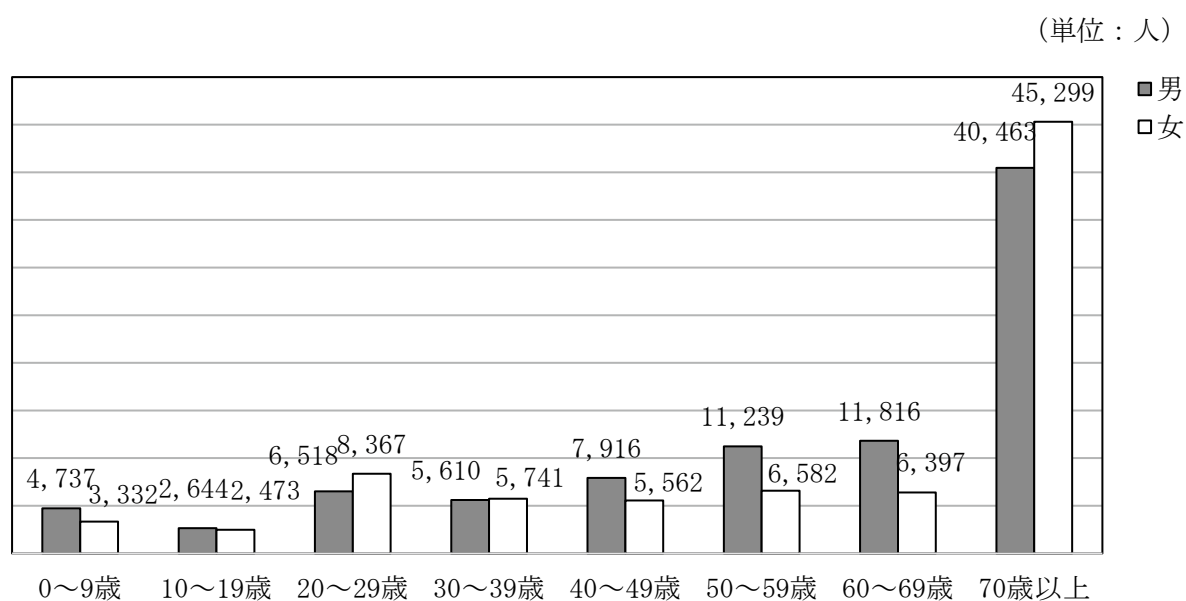


8. 性別・年齢層別搬送状況

(1) 性別・年齢層別搬送人員

搬送人員を性別でみると、男性が90,943人（52.1%）、女性が83,753人（47.9%）となり、60歳代までは男性が多い傾向を示すが、70歳以上では女性が多い。

年齢層の性別でみると、男性、女性共に70歳以上がそれぞれ40,463人（44.5%）、45,299人（54.1%）と最も多くなっている。



(2) 搬送人員の年齢層別構成比の推移

搬送人員を年齢層別でみると、65歳以上の高齢者の割合は54.8%（95,758人）となり、平成27年以降初めての減少となった。

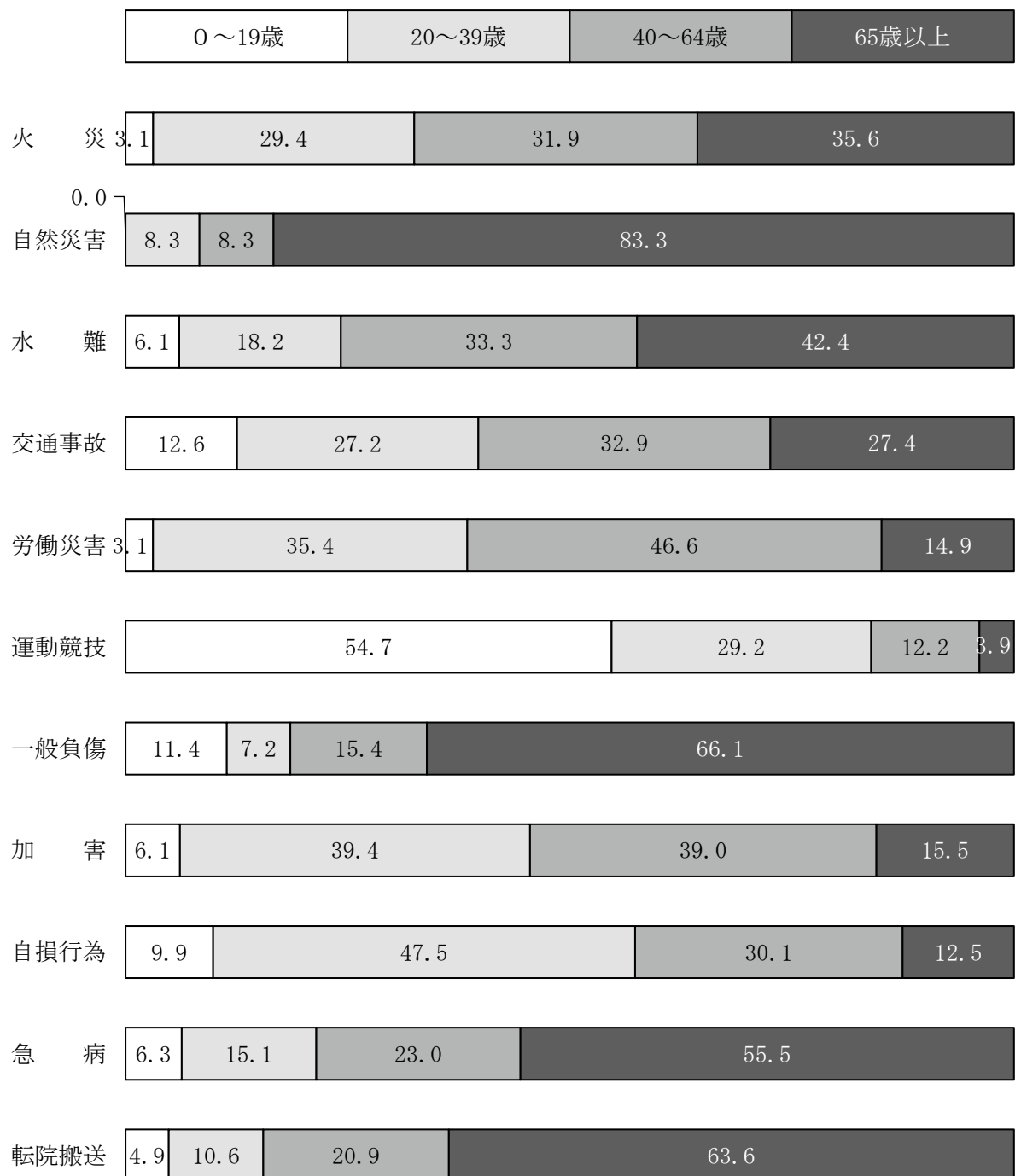
（単位：%）

	0～19歳		20～39歳		40～64歳		65歳以上	
平成27年	9.3	16.2	23.8		50.7			
平成28年	9.4	16.0	23.2		51.3			
平成29年	8.9	15.6	22.5		52.9			
平成30年	8.8	15.8	22.3		53.0			
令和元年	9.1	15.6	22.1		53.2			
令和2年	6.9	15.0	22.3		55.7			
令和3年	7.5	15.0	22.6		54.8			

(3) 事故種別・年齢層別構成比

年齢層別の搬送人員を事故種別の割合でみると、急病、一般負傷で65歳以上は、それぞれ55.5% (67,502人)、66.1% (17,354人) と多くを占めており、交通事故では40歳から64歳までが32.9% (3,472人) と多くなっている。

(単位：%)



9. 医療機関開設主体別搬送状況

傷病者を収容した医療機関は、私的医療機関が 133,527 人で 76.4%を占めている。

(単位：人)

区分	計	国立	公立	左記以外の 公 的	私的	その他
計	174,696	9,079	12,625	18,350	134,640	2
二次・三次救急医療機関	162,234	8,858	9,141	12,462	131,773	—
初期救急医療機関	438	25	—	—	413	—
その他の医療機関	12,022	196	3,484	5,888	2,454	—
その他の場所	2	—	—	—	—	2

10. 転院搬送状況の推移

転院搬送は、医療機関からの要請により、当該医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関へ搬送することで、11,525 人と、全搬送人員の 6.6%を占めている。

また転院理由は、当該医療機関での処置困難が 8,853 人（76.8%）と 7 割を超え、次に専門外が 1,270 人（11.1%）となっている。

年	計 (人)	全搬送人員に 対する構成比 (%)	理 由 別 (人)					後送 (人)
			ベッド満末	専門外	病末なし	処置困難	その他	
平成 29 年	12,535	6.7	313	1,999	353	8,549	415	906
平成 30 年	12,737	6.3	327	1,852	342	9,021	382	813
令和元年	13,281	6.5	279	1,875	287	9,615	381	844
令和 2 年	11,611	6.6	376	1,513	227	8,581	433	481
令和 3 年	11,525	6.6	292	1,270	199	8,853	405	506

11. 転送状況の推移

(1) 回数別搬送人員

転送とは、何らかの理由により、救急隊が当初搬送した医療機関等で収容できなかったため、当該救急隊が継続して他の医療機関等へ搬送した場合をいい、令和3年は340人と、全搬送人員の0.2%となっている。

(単位：人)

年	転送なし (A)	転送あり					搬送人員 (C)=(A)+(B)	転送率(%) (B)／(C)×100
		1回	2回	3回	4回	小計 (B)		
平成29年	187,677	449	11	—	—	460	188,137	0.2
平成30年	200,379	436	7	—	—	443	200,822	0.2
令和元年	202,922	451	6	—	—	457	203,379	0.2
令和2年	176,222	406	5	—	—	411	176,363	0.2
令和3年	174,356	337	3	—	—	340	174,696	0.2

(2) 理由別転送回数

転送理由は、処置困難が148回と最も多く、全転送回数の43.1%となっている。

(単位：回)

年	計	ベッド満床	専門外	処置困難	その他
平成29年	471	31	175	193	72
平成30年	450	29	174	188	59
令和元年	463	24	187	211	41
令和2年	411	24	108	199	80
令和3年	343	29	102	148	64

12. 要保護傷病者搬送状況の推移

令和3年の要保護傷病者の搬送人員は799人であり、割合としては全搬送人員の0.5%となっている。

(単位：人)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
要保護傷病者 搬送人員数	1,189	1,169	1,198	1,012	799

※要保護傷病者

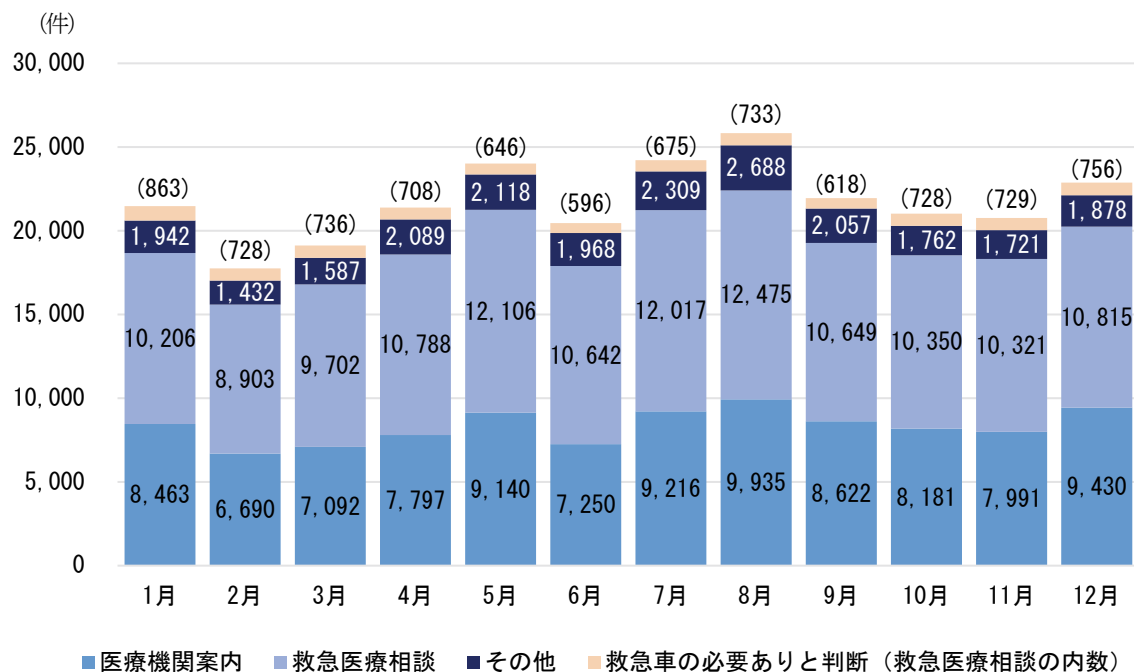
- ・生活保護法に定める要保護者の傷病者（ただし、被保護者を除く）
- ・行旅病人及び行旅死亡人取扱法に定める行旅病人又は行旅死亡人に準ずる者

救急安心センターおおさか

1. 救急安心センターおおさか利用状況

(1) 月別利用状況

8月の利用が最も多く、2月の利用が最も少なかった。



(2) 月別利用状況の詳細

全着信件数 252,332 件の内、医療機関案内が 99,807 件 (39.6%)、救急医療相談が 128,974 件 (51.1%) であり、救急車の必要ありと判断した件数が 8,516 件 (3.4%) となっている。

(単位：件)

	全着信	医療機関案内	救急医療相談	救急車の必要あり	その他
計	252,332	99,807	128,974	8,516	23,551
1月	20,611	8,463	10,206	863	1,942
2月	17,025	6,690	8,903	728	1,432
3月	18,381	7,092	9,702	736	1,587
4月	20,674	7,797	10,788	708	2,089
5月	23,364	9,140	12,106	646	2,118
6月	19,860	7,250	10,642	596	1,968
7月	23,542	9,216	12,017	675	2,309
8月	25,098	9,935	12,475	733	2,688
9月	21,328	8,622	10,649	618	2,057
10月	20,293	8,181	10,350	728	1,762
11月	20,033	7,991	10,321	729	1,721
12月	22,123	9,430	10,815	756	1,878

※その他とは、誤着信、無言電話、医薬品や育児に関する相談等。

(3) 曜日別利用状況

日曜日・祝日の利用が最も多く、1日平均は1,375.9件であり、続いて土曜日が1日平均832.9件となっている。

(単位：件)

曜日	日・祝日	月	火	水	木	金	土	計
件数	71,546	26,845	25,833	28,474	29,003	27,319	43,312	252,332
1日平均	1,375.9	516.3	496.8	547.6	557.8	515.5	832.9	691.3

2. 医療機関案内の診療科目別状況

年間179,196件の診療科目等の案内を行った。

科目別では案内数の多い順で内科系、外科系、小児科となっている。

(単位：件)

科目等	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
計	15,646	12,664	13,316	14,414	16,785	13,565	16,617	17,148	14,828	14,419	13,990	15,804	179,196
内科系	5,894	4,387	4,595	5,284	6,240	4,694	6,307	7,817	6,162	5,153	4,790	5,430	66,753
外科系	6,062	5,185	5,272	4,971	5,683	4,961	5,823	5,092	5,194	5,736	5,776	6,181	65,936
小児科	1,894	1,581	1,888	2,594	3,030	2,468	2,667	2,464	1,933	2,046	2,005	2,360	26,930
産・婦人科	310	226	252	236	295	240	293	270	272	265	235	288	3,182
泌尿器科	271	226	223	221	250	231	264	280	286	255	229	282	3,018
皮膚科	102	80	102	101	152	95	163	150	113	86	88	104	1,336
眼科	361	295	298	313	331	271	352	326	283	283	251	365	3,729
耳鼻咽喉科	456	374	395	421	491	369	483	461	317	327	317	408	4,819
口腔外科	161	175	184	166	162	131	148	163	144	166	177	178	1,955
精神科							1	1		1	2		5
歯科	123	122	93	90	125	83	95	95	90	87	87	167	1,257
患者等搬送事業者	12	13	14	17	25	21	21	28	34	14	33	41	273
その他					1	1		1					3

※医療機関を案内した合計数（救急医療相談後の医療機関案内を含む）

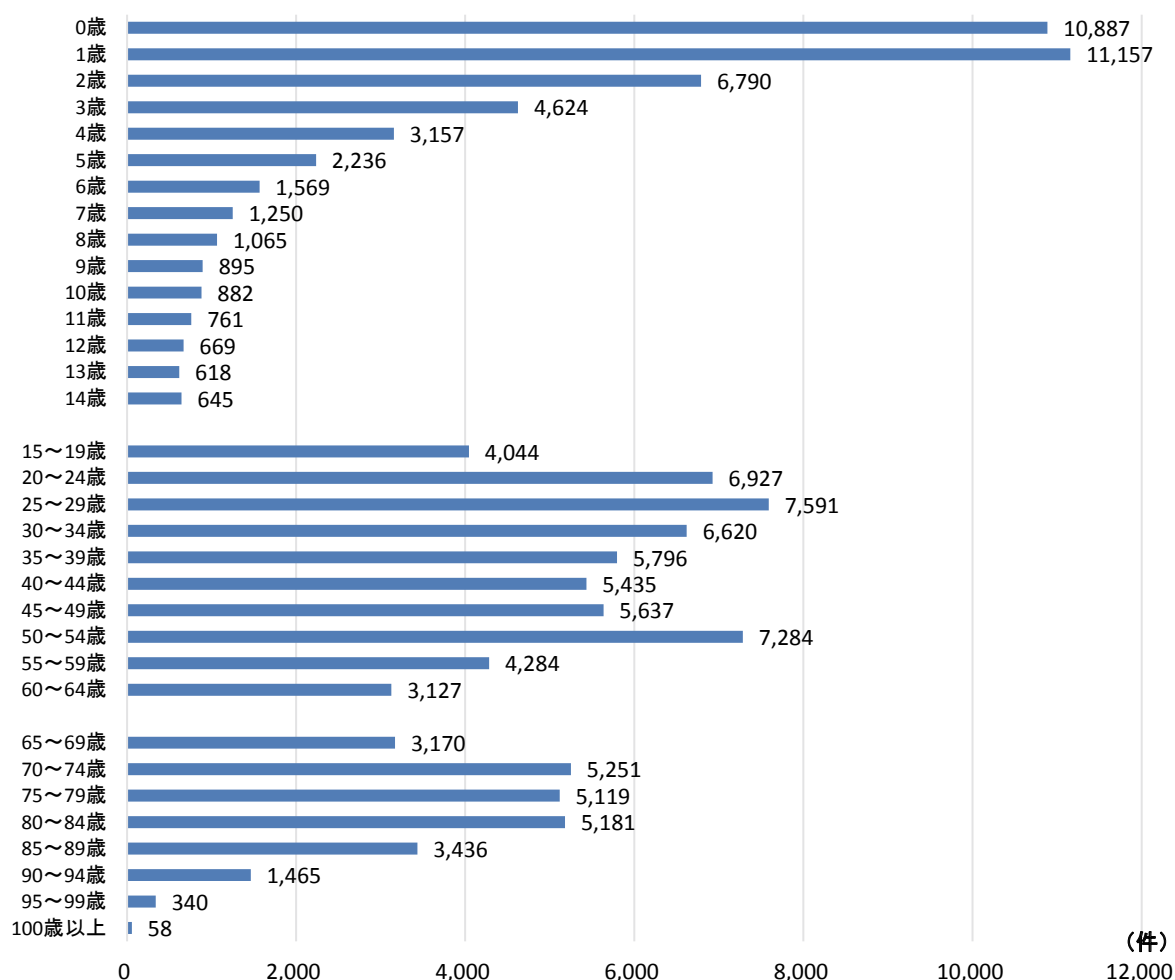
※1件の問い合わせで複数科目を案内した場合はそれぞれで計上

3. 救急医療相談状況

(1) 救急医療相談対象者の年齢区分

小児(15歳未満)の相談が47,205人(36.6%)、高齢者(65歳以上)が24,020人(18.6%)となった。

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
計	128,974				
0歳	10,887	15～19歳	4,044	65～69歳	3,170
1歳	11,157	20～24歳	6,927	70～74歳	5,251
2歳	6,790	25～29歳	7,591	75～79歳	5,119
3歳	4,624	30～34歳	6,620	80～84歳	5,181
4歳	3,157	35～39歳	5,796	85～89歳	3,436
5歳	2,236	40～44歳	5,435	90～94歳	1,465
6歳	1,569	45～49歳	5,637	95～99歳	340
7歳	1,250	50～54歳	7,284	100歳以上	58
8歳	1,065	55～59歳	4,284	不明	1,004
9歳	895	60～64歳	3,127		
10歳	882				
11歳	761				
12歳	669				
13歳	618				
14歳	645				



(2) 救急医療相談の症候別内訳

(単位：件)

成人用		成人及び小児共通			
呼吸困難	4,928	動悸	1,714	上肢の問題	1,517
喘鳴	67	意識障害	2,031	脚(鼠径部～下腿)	2,492
喘息	209	背部痛	1,196	足(足首より先)	847
痙攣	331	失神	580	出血	780
頭痛	5,261	構音障害・声が出ない	611	裂傷	353
胸痛	3,579	感冒	1,396	打撲	229
発熱	7,336	咽頭痛	965	墜落・転落	164
発疹・蕁麻疹	2,268	胸やけ	153	穿通性損傷	92
腹痛	7,197	吐血・下血・血便	1,302	咬傷・虫刺症	1,588
便秘	611	排尿時痛	306	熱傷	1,252
下痢	1,004	排尿困難	548	創傷感染	267
吐き気・嘔吐	2,495	尿の色の異常	538	眼の外傷	877
耳痛(耳漏)	327	多尿・頻尿	153	耳の外傷・異物	364
頭部外傷	2,114	腔からの出血	702	頸部・背部の外傷	148
小児用		性器・泌尿器(男性)	627	体幹外傷	669
発熱	9,347	難聴	145	四肢・顔面の外傷	4,357
痙攣(ひきつけ)・震え	512	耳鳴り	162	固形異物誤飲	2,904
咳	1,761	めまい・ふらつき	4,899	液体異物誤飲	562
鼻水・鼻づまり	223	しびれ・麻痺	3,055	ガス吸入・液体誤嚥	145
喘息・喘息様症状	84	眼科関連	1,759	医薬品過量(誤)服用	1,065
呼吸困難	1,115	鼻(外傷・鼻出血など)	1,391	眼内異物	430
発疹	2,342	口腔内・歯痛・歯牙損傷	2,500	コンタクトレンズ関連	103
吐き気・嘔吐	3,622	頸部痛・肩の痛み	1,075	鼻腔内異物	222
下痢	749	腰痛	2,300	魚骨咽頭異物	305
腹痛	1,632	乳房痛	192	直腸内異物	41
便秘	364	かゆみ	128	腔内異物	20
便の色の異常	671	アレルギー	313	皮膚異物	177
耳痛(耳漏)	583	高血圧	1,454	食中毒	529
頭痛	574	しゃっくり	98	熱中症	599
たばこ誤飲	252	過換気	186	低体温	121
啼泣	678	不安・恐怖	310	麻疹(はしか)	0
食欲がない	177	不眠	269	しらみ	2
頭部・頸部外傷	7,903	うつの訴え	128	計	126,723

※救急医療相談の Protokol 使用要領は、共通項目を聴取した後に、相談内容に応じた症候別項目へ移行するが、共通項目を終えた時点で 119 転送した場合など、症候別項目へ移行せずに相談を終える場合がある。

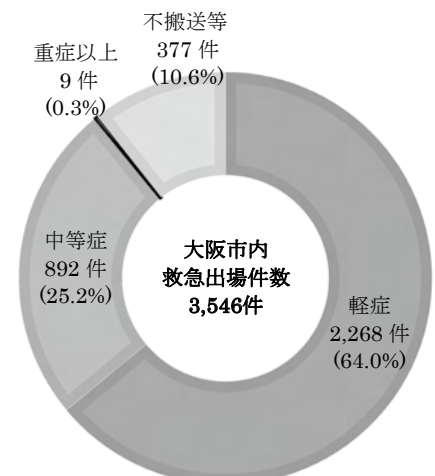
(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度(大阪市内)

救急車を出場させた 3,546 件(大阪市内)のうち、緊急入院したもの(中等症)は 892 件であった。

また、軽症者の中には脳梗塞や心筋梗塞などでみられる症状を迅速にとらえ受診につなげることで、通院加療にとどまったケースもあった。

(単位：件)

	軽症	中等症	重症以上	不搬送等	計
計	2,268	892	9	377	3,546
1 月	223	95	2	28	348
2 月	191	68	0	43	302
3 月	193	80	2	32	307
4 月	183	75	0	31	289
5 月	186	64	1	32	283
6 月	162	60	0	26	248
7 月	177	72	0	29	278
8 月	202	80	0	34	316
9 月	159	64	2	35	260
10 月	200	74	0	32	306
11 月	195	76	0	23	294
12 月	197	84	2	32	315



統計表

(参 考) 事 故 種 別 区 分 表

種 別	区分	内 容
火 災 事 故	1	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故
自然災害事故	1	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他異常な自然現象に起因する災害による事故
水 難 事 故	1	水泳中の溺者（運動競技によるものを除く。）又は誤って水中に転落したこと等による事故（海上交通機関の交通事故によるものを除く）
交 通 事 故	1	陸上交通機関によるすべての事故（乗車中の負傷、走行中の急停車又は車内混乱が直接負傷発生の原因となったものを含む）
	2	海上交通機関によるすべての交通事故
	3	航空交通機関によるすべての交通事故
労働災害事故	1	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の外科的傷病事故
	2	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の内科的疾患事故（各種ガス中毒、ケーン病、熱射病等）
運動競技事故	1	運動競技実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等が負傷又は発病した事故
	2	観覧中の者が運動競技用具等によって負傷した事故及び各種職場、学校等において組織的な運動競技でない練習、遊技中に発生した事故
一 般 負 傷	1	貨幣、針、その他の誤飲、異物による気道閉塞、寝具、乳房による窒息事故
	2	ガス類により中毒した事故（労働災害及び自損行為によるものを除く。）
	3	公衆集合場、街頭及び屋内等で発生した他の各項および前各号以外の事故
加 害	1	他人によって故意に傷害等を加えられた事故
自 損 行 為	1	各種薬（毒）物又はガス類を使用し、故意に自分自身に傷害等を加えた事故
	2	前号以外の方法で故意に自分自身に傷害等を加えた事故
急 病	1	内科的疾患による事故（症状悪化、食中毒、薬毒物誤飲等を含む。）
	2	産婦人科系の疾患による事故
そ の 他		転 院 搬 送
		医 師 搬 送
		資器材等輸送
		不搬送であったもののうち、前各項及び前各号以外の事故

第1表

事故種別救急活動状況

事 故 種 別	出 場 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)
計	218,050	174,696
火 災 1	711	160
自 然 災 害 1	14	12
水 難 1	84	33
交 通 1	12,916	10,566
2	1	1
3	0	0
労 働 災 害 1	1,352	1,322
2	62	61
運 動 競 技 1	608	595
2	21	21
一 般 負 傷 1	843	696
2	25	21
3	34,856	25,547
加 害 1	1,968	1,175
自 損 行 為 1	1,316	905
2	945	523
急 病 1	148,465	120,084
2	1,491	1,449
そ の 他		
転 院 搬 送	11,519	11,525
医 師 搬 送	3	-
資 器 材 等 輸 送	2	-
そ の 他	848	-

第2表

隊別救急活動状況

隊		出 場 件 数 (件)						搬 送 人 員 (人)		
		計	傷 病 者 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	不 搬 送	地 域 別			
							市 域 内		市 域 外	
計		218,050	174,190	3	2	43,855	218,005	45	174,696	
本部	本部 1	1,396	1,196	1	2	200	1,396	1	1,202	
	本部 2	1,404	1,179			225	1,404		1,182	
	本部 3	274	246			28	274		246	
北	北	3,515	2,828			687	3,515		1	2,835
	南 森 町	3,488	2,780			708	3,487			2,789
	浮 田	3,980	3,097			882	3,979			3,109
都 島	大 淀 町	3,148	2,563			585	3,147		1	2,570
	都 島 1	3,508	2,927			581	3,508		1	2,933
	都 島 2	1,441	1,220			221	1,441			1,220
東 野 田	3,343	2,636	707			3,343	2,643			
福 島	福 島	2,961	2,493	468	2,960	1	2,498			
	海 老 江	2,433	2,084	349	2,432	1	2,088			
此 花	此 花 1	2,645	2,202	443	2,644	1	2,206			
	此 花 2	2,475	2,119	356	2,475	1	2,127			
中 央	中 央	3,196	2,566	630	3,196		2,577			
	道 頓 堀	3,535	2,345	1,190	3,534		1	2,351		
	上 町	3,226	2,374	852	3,225	1	2,387			
西	西	3,071	2,543	528	3,071	1	2,547			
	江 戸 堀	2,872	2,422	450	2,872		2,437			
	新 町	3,339	2,676	663	3,339		2,691			
大 正	港	3,184	2,697	487	3,184	1	2,706			
	大 正	2,633	2,270	363	2,633		2,271			
	天王寺	天 王 寺 1	3,491	2,839	651		3,491	2,850		
浪 速	天 王 寺 2	1,431	1,222	209	1,431	1,225				
	浪速本署1	3,076	2,256	820	3,076	2,269				
	浪速本署2	2,852	2,196	656	2,852	2,205				
西淀川	恵 美 須	3,611	2,500	1,111	3,611	2,508				
	浪速(出)	3,044	2,345	699	3,044	2,352				
	西 淀 川	3,378	2,880	498	3,377	1	2,890			
淀 川	大 和 田	2,770	2,442	328	2,768	2	2,450			
	淀 川 1	3,478	2,833	1	644	3,477	1	2,845		
	淀 川 2	3,328	2,769	559	3,327	1	2,776			
東淀川	加 島	2,532	2,052	480	2,531	1	2,059			
	東 淀 川	4,030	3,426	604	4,030	3	3,435			
	小 松	3,693	3,114	579	3,690		3,121			
西 淡 路	4,074	3,374	700	4,072	2		3,380			

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。

※本部第1救急隊及び本部第3救急隊は令和3年10月1日よりデイトタイム救急隊

隊		出 場 件 数 (件)							搬 送 人 員 (人)
		計	傷 病 者 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	不 搬 送	地 域 別		
							市 域 内	市 域 外	
東成	東 成 1	3,402	2,656	1	1	746	3,400	2	2,663
	東 成 2	3,200	2,571			629	3,200		2,579
生 野	生 野	3,202	2,555			647	3,202		2,563
	中 川	2,821	2,229			592	2,821		2,235
	巽	3,030	2,531			499	3,030		2,536
旭	旭1	3,818	3,080			738	3,816	2	3,089
	旭2	3,676	2,940			736	3,676		2,943
城 東	城 東 1	3,847	3,325			521	3,847		3,333
	城 東 2	3,647	3,062			585	3,646	1	3,067
	中 浜	3,395	2,900			495	3,394	1	2,904
鶴 見	鶴 見 1	3,041	2,717			324	3,040	1	2,730
	鶴 見 2	2,883	2,487			396	2,879	4	2,496
阿倍野	阿 倍 野 1	3,299	2,593			706	3,299		2,602
	阿 倍 野 2	3,231	2,611			620	3,231		2,620
	阪 南	3,416	2,518			898	3,416		2,519
住之江	住 之 江 1	4,304	3,356			948	4,300	4	3,368
	住 之 江 2	1,695	1,409			286	1,695		1,413
	南 港	1,705	1,464			241	1,702	3	1,466
住 吉	住 吉 1	3,353	2,548			805	3,352	1	2,553
	住 吉 2	3,167	2,382			785	3,167		2,389
	苅 田	3,442	2,656	786	3,442		2,663		
東住吉	東 住 吉 1	3,519	2,709	809	3,519		2,716		
	東 住 吉 2	1,605	1,286	319	1,605		1,290		
	杭 全	3,277	2,562	715	3,277		2,570		
平 野	平 野 1	3,364	2,702	662	3,362	2	2,714		
	平 野 2	3,176	2,553	623	3,174	2	2,563		
	長 吉	3,206	2,530	676	3,203	3	2,532		
	喜 連	3,745	3,029	716	3,745		3,039		
西 成	西 成 1	3,631	2,773	858	3,631		2,780		
	西 成 2	3,447	2,476	971	3,447		2,483		
	海 道 1	4,245	2,793	1,452	4,245		2,798		
	海 道 2	4,185	2,634	1,551	4,185		2,638		
	津 守	2,973	2,350	623	2,973		2,361		
水上		1,993	1,720			273	1,993		1,722
航空隊									
增強救急隊		2,255	1,772			483	2,255		1,779

第3表

月別救急活動状況

月	出 場 件 数 (件)							搬 送 人 員 （ 人 ）
	計	傷 病 者 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	不 搬 送	地 域 別		
						市 域 内	市 域 外	
計	218,050	174,190	3	2	43,855	218,005	45	174,696
1月	17,527	14,177	－	－	3,350	17,524	3	14,210
2月	15,300	12,419	－	－	2,881	15,294	6	12,445
3月	17,914	14,464	1	－	3,449	17,910	4	14,500
4月	17,987	13,779	－	1	4,207	17,983	4	13,809
5月	16,847	13,181	－	1	3,665	16,845	2	13,215
6月	16,774	13,521	－	－	3,253	16,767	7	13,572
7月	19,861	15,976	1	－	3,884	19,858	3	16,024
8月	21,100	16,300	－	－	4,800	21,096	4	16,364
9月	17,878	14,124	－	－	3,754	17,878	－	14,162
10月	18,647	15,092	1	－	3,554	18,641	6	15,139
11月	18,091	14,825	－	－	3,266	18,088	3	14,862
12月	20,124	16,332	－	－	3,792	20,121	3	16,394

第4表

月別出場件数及び搬送人員

月	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	218,050	711	14	84	12,917	1,414	629	35,724	1,968	2,261	149,956	12,372
	174,696	160	12	33	10,567	1,383	616	26,264	1,175	1,428	121,533	11,525
1月	17,527	70	－	4	928	106	32	3,245	158	211	11,720	1,053
	14,210	14	－	3	756	104	30	2,383	94	136	9,703	987
2月	15,300	55	－	7	906	97	48	2,795	164	196	10,127	905
	12,445	13	－	1	739	95	47	2,108	92	126	8,389	835
3月	17,914	66	－	8	1,079	130	47	3,122	156	207	11,977	1,122
	14,500	11	－	3	840	124	44	2,312	94	133	9,890	1,049
4月	17,987	60	－	8	1,006	96	43	2,685	127	187	12,812	963
	13,809	12	－	3	787	93	43	1,918	64	110	9,888	891
5月	16,847	50	－	4	965	93	33	2,457	134	170	12,004	937
	13,215	11	－	2	782	91	32	1,780	79	105	9,462	871
6月	16,774	46	－	14	1,063	132	48	2,573	150	200	11,533	1,015
	13,572	8	－	4	879	131	47	1,850	88	114	9,515	936
7月	19,861	60	－	7	1,144	145	83	3,030	189	193	13,957	1,053
	16,024	14	－	3	957	142	82	2,171	117	115	11,466	957
8月	21,100	41	13	6	1,083	112	53	2,714	146	168	15,658	1,106
	16,364	6	11	4	892	111	51	1,910	88	100	12,165	1,026
9月	17,878	53	－	7	987	93	44	2,562	132	193	12,813	994
	14,162	11	－	3	819	91	45	1,887	80	117	10,168	941
10月	18,647	56	－	5	1,242	136	62	3,269	214	171	12,486	1,006
	15,139	7	－	1	1,032	132	61	2,442	136	115	10,276	937
11月	18,091	65	－	7	1,175	143	75	3,347	205	178	11,816	1,080
	14,862	14	－	4	958	139	75	2,540	133	122	9,852	1,025
12月	20,124	89	1	7	1,339	131	61	3,925	193	187	13,053	1,138
	16,394	39	1	2	1,126	130	59	2,963	110	135	10,759	1,070

(注) 上段 … 出場件数(件)

下段 … 搬送人員(人)

第5表

行政区別救急活動状況

行政区	計	火 災 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
計	218,050	711	14	84	12,917	1,414	629	35,724	1,968	2,261	149,956	11,519	3	2	848
	174,696	160	12	33	10,567	1,383	616	26,264	1,175	1,428	121,533	11,525	-	-	-
北	14,650	73	-	6	895	130	31	2,329	156	131	10,141	693	-	-	65
	11,703	36	-	3	779	124	28	1,734	105	87	8,113	694	-	-	-
都 島	6,917	13	-	6	353	42	29	1,185	64	61	4,874	243	-	-	47
	5,622	4	-	4	299	42	29	902	35	43	4,021	243	-	-	-
福 島	4,408	9	-	1	278	49	8	691	24	46	2,932	362	-	-	8
	3,726	1	-	-	241	46	8	546	14	27	2,481	362	-	-	-
此 花	5,013	27	1	2	301	60	40	836	15	39	3,494	177	-	-	21
	4,242	-	1	-	252	58	40	667	13	25	3,009	177	-	-	-
中 央	13,349	56	-	8	934	137	29	2,074	317	211	9,183	371	-	-	29
	9,924	5	-	5	755	135	29	1,422	177	115	6,910	371	-	-	-
西	7,384	28	2	-	535	55	14	962	59	78	4,616	1,013	1	-	21
	6,252	4	1	-	460	55	15	734	39	48	3,883	1,013	-	-	-
港	6,089	18	1	1	353	47	18	1,010	40	44	4,317	220	-	-	20
	5,169	4	1	1	307	47	18	765	24	30	3,752	220	-	-	-
大 正	4,938	20	-	-	304	42	15	784	29	47	3,441	244	-	-	12
	4,182	3	-	-	243	40	15	623	22	30	2,962	244	-	-	-
天王寺	5,822	17	1	1	351	32	26	998	37	48	3,722	573	-	-	16
	4,636	1	1	1	281	32	26	750	26	28	2,917	573	-	-	-
浪 速	7,991	34	2	1	494	49	25	1,124	98	126	5,681	340	-	-	17
	6,028	5	2	1	379	49	24	791	65	71	4,301	340	-	-	-
西淀川	6,520	18	-	7	372	90	18	982	41	49	4,419	507	-	-	17
	5,703	1	-	1	334	89	17	806	33	35	3,879	508	-	-	-
淀 川	12,631	51	-	5	740	84	41	2,016	110	130	8,844	546	-	1	63
	10,379	16	-	4	606	84	41	1,509	81	87	7,405	546	-	-	-
東淀川	12,303	31	1	3	628	31	41	1,919	73	173	8,797	543	-	-	63
	10,321	12	1	1	522	31	40	1,518	54	115	7,483	544	-	-	-

(注) 上段 … 出場件数(件)

下段 … 搬送人員(人)

行政区	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
東 成	5,611	17	-	-	366	27	11	962	40	55	3,763	356	-	-	14
	4,522	4	-	-	306	27	11	717	22	39	3,038	358	-	-	-
生 野	10,868	36	2	1	675	59	22	1,832	97	125	7,448	527	-	-	44
	8,763	7	1	-	532	59	21	1,357	62	78	6,119	527	-	-	-
旭	6,082	11	-	4	302	19	22	1,048	38	66	4,128	418	-	-	26
	4,904	2	-	2	251	19	22	799	20	36	3,335	418	-	-	-
城 東	10,387	27	-	5	544	51	21	1,727	49	104	6,973	828	-	1	57
	8,917	5	-	-	466	49	21	1,401	32	82	6,033	828	-	-	-
鶴 見	6,499	15	-	-	441	37	44	1,125	24	45	4,304	445	-	-	19
	5,720	2	-	-	396	37	44	950	18	33	3,795	445	-	-	-
阿倍野	7,000	26	1	-	400	37	15	1,288	47	51	4,640	450	1	-	44
	5,659	4	1	-	321	35	15	988	29	36	3,780	450	-	-	-
住之江	9,479	29	-	3	562	122	50	1,535	52	101	6,550	438	1	-	36
	7,705	7	-	-	441	120	50	1,124	36	67	5,422	438	-	-	-
住 吉	11,360	22	3	2	608	34	37	1,944	68	121	7,902	549	-	-	70
	8,554	5	3	1	452	31	36	1,335	39	69	6,033	550	-	-	-
東住吉	10,135	21	-	-	665	46	25	1,607	86	82	6,978	581	-	-	44
	7,914	5	-	-	520	44	22	1,188	42	43	5,469	581	-	-	-
平 野	14,381	38	-	-	1,010	84	25	2,352	87	166	9,929	639	-	-	51
	11,594	7	-	-	825	81	25	1,796	50	105	8,066	639	-	-	-
西 成	18,154	69	-	-	785	49	21	3,385	316	156	12,874	456	-	-	43
	12,522	20	-	-	585	48	19	1,841	136	94	9,323	456	-	-	-
水上区	34	1	-	24	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-
	14	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
市域外	45	4	-	4	21	1	1	6	1	-	6	-	-	-	1
	21	-	-	-	14	1	-	1	1	-	4	-	-	-	-

第6表

平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員

区 分	出 場 件 数 (件)														
	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
計	218,050	711	14	84	12,917	1,414	629	35,724	1,968	2,261	149,956	11,519	3	2	848
平・休日															
平 日	148,157	507	0	56	9,090	1,103	265	23,583	1,145	1,532	101,285	9,019	2	1	569
休 日	69,893	204	14	28	3,827	311	364	12,141	823	729	48,671	2,500	1	1	279
時 間															
0 ～ 1	6,327	26	－	1	272	17	4	919	158	121	4,635	146	－	－	28
1 ～ 2	5,395	26	－	3	199	17	3	748	127	108	4,045	93	－	－	26
2 ～ 3	4,566	13	－	－	136	19	1	654	99	88	3,459	69	－	－	28
3 ～ 4	4,302	17	－	2	152	7	－	524	103	74	3,338	65	－	－	20
4 ～ 5	3,968	13	－	1	133	8	－	500	83	67	3,092	52	－	－	19
5 ～ 6	4,502	15	－	3	159	13	－	632	55	59	3,498	56	－	－	12
6 ～ 7	5,491	21	－	4	315	9	3	795	58	68	4,160	39	－	－	19
7 ～ 8	6,938	20	－	7	506	40	4	1,022	38	67	5,171	36	－	－	27
8 ～ 9	9,347	39	－	7	774	75	13	1,513	34	70	6,669	133	1	－	19
9 ～ 10	12,334	24	－	5	733	122	32	2,073	48	83	8,566	624	－	－	24
10～11	13,378	71	－	7	741	116	51	2,198	52	82	8,925	1,096	－	－	39
11～12	12,842	31	1	5	812	142	66	2,017	62	82	8,316	1,263	－	－	45
12～13	12,460	31	9	5	716	94	52	1,993	56	82	7,937	1,452	－	－	33
13～14	11,897	38	2	3	676	112	61	1,949	53	82	7,799	1,067	1	－	54
14～15	11,564	29	－	8	715	126	58	1,898	54	87	7,693	854	－	－	42
15～16	11,192	39	2	5	701	112	57	1,931	64	97	7,366	774	－	－	44
16～17	11,176	35	－	3	807	109	55	2,005	62	110	7,126	809	－	－	55
17～18	11,808	23	－	3	951	67	40	2,104	70	97	7,632	772	－	2	47
18～19	11,596	45	－	2	881	56	34	1,982	101	142	7,609	683	－	－	61
19～20	11,193	50	－	3	744	50	28	1,973	78	124	7,567	530	－	－	46
20～21	10,533	30	－	2	606	31	24	1,975	131	131	7,287	282	－	－	34
21～22	9,545	41	－	－	510	29	23	1,685	133	105	6,753	218	－	－	48
22～23	8,447	22	－	3	383	22	15	1,473	115	123	6,010	229	1	－	51
23～24	7,249	12	－	2	295	21	5	1,161	134	112	5,303	177	－	－	27

搬 送 人 員 (人)												区
計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	分
174,696	160	12	33	10,567	1,383	616	26,264	1,175	1,428	121,533	11,525	計
												平・休日
119,689	126	0	23	7,481	1,084	256	17,393	694	955	82,653	9,024	平 日
55,007	34	12	10	3,086	299	360	8,871	481	473	38,880	2,501	休 日
												時 間
4,499	6	－	1	211	17	2	574	77	69	3,396	146	0～ 1
3,849	8	－	1	146	17	3	429	73	67	3,012	93	1～ 2
3,186	3	－	－	89	18	1	394	53	50	2,509	69	2～ 3
3,067	2	－	－	101	5	－	312	54	49	2,479	65	3～ 4
2,903	5	－	－	109	8	－	321	49	47	2,312	52	4～ 5
3,367	3	－	1	117	13	－	422	38	37	2,679	57	5～ 6
4,298	5	－	1	255	9	2	587	31	43	3,326	39	6～ 7
5,590	6	－	1	434	39	4	789	20	44	4,217	36	7～ 8
7,939	5	－	1	665	73	13	1,256	26	43	5,724	133	8～ 9
10,815	3	－	－	651	122	32	1,732	34	62	7,555	624	9～10
11,492	42	1	4	635	112	51	1,768	33	54	7,694	1,098	10～11
10,881	2	7	2	698	138	62	1,596	37	49	7,026	1,264	11～12
10,552	4	2	3	594	92	52	1,538	38	54	6,723	1,452	12～13
9,939	4	－	1	557	111	61	1,495	36	55	6,552	1,067	13～14
9,529	4	2	3	611	125	59	1,412	35	52	6,372	854	14～15
9,109	9	－	3	576	110	55	1,450	36	54	6,042	774	15～16
9,098	10	－	3	665	108	54	1,513	37	73	5,825	810	16～17
9,504	6	－	－	783	66	40	1,549	37	58	6,193	772	17～18
9,310	12	－	－	719	55	33	1,473	64	87	6,184	683	18～19
8,749	9	－	2	601	49	27	1,393	53	79	6,006	530	19～20
8,099	2	－	1	468	31	23	1,377	80	86	5,749	282	20～21
7,203	5	－	－	375	26	22	1,132	86	64	5,274	219	21～22
6,352	4	－	3	284	21	15	984	72	83	4,657	229	22～23
5,366	1	－	2	223	18	5	768	76	69	4,027	177	23～24

第7表

曜日別、時間別出場件数及び搬送人員

時間	出 場 件 数 (件)							
	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	218,050	29,878	32,967	30,658	30,387	30,762	32,233	31,165
0 ～ 1	6,327	1,035	820	838	844	863	921	1,006
1 ～ 2	5,395	906	755	721	708	760	724	821
2 ～ 3	4,566	803	652	641	571	598	602	699
3 ～ 4	4,302	700	658	602	560	578	589	615
4 ～ 5	3,968	654	598	561	531	566	533	525
5 ～ 6	4,502	715	691	628	591	614	646	617
6 ～ 7	5,491	815	853	751	782	750	807	733
7 ～ 8	6,938	892	1,144	963	925	1,039	1,025	950
8 ～ 9	9,347	1,118	1,709	1,383	1,347	1,329	1,351	1,110
9 ～10	12,334	1,371	2,116	1,826	1,797	1,797	1,809	1,618
10～11	13,378	1,604	2,227	1,960	1,944	1,884	2,031	1,728
11～12	12,842	1,670	1,969	1,864	1,782	1,786	1,952	1,819
12～13	12,460	1,595	1,905	1,711	1,793	1,812	1,825	1,819
13～14	11,897	1,567	1,851	1,711	1,642	1,690	1,778	1,658
14～15	11,564	1,493	1,679	1,615	1,687	1,639	1,750	1,701
15～16	11,192	1,510	1,649	1,513	1,553	1,652	1,754	1,561
16～17	11,176	1,525	1,686	1,614	1,582	1,536	1,639	1,594
17～18	11,808	1,626	1,737	1,659	1,723	1,680	1,724	1,659
18～19	11,596	1,616	1,746	1,600	1,605	1,699	1,655	1,675
19～20	11,193	1,628	1,541	1,581	1,621	1,576	1,642	1,604
20～21	10,533	1,443	1,501	1,479	1,415	1,475	1,556	1,664
21～22	9,545	1,386	1,365	1,277	1,316	1,307	1,417	1,477
22～23	8,447	1,214	1,125	1,174	1,142	1,117	1,331	1,344
23～24	7,249	992	990	986	926	1,015	1,172	1,168

搬 送 人 員 (人)								時間
計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
174,696	23,437	26,880	24,700	24,491	24,803	25,800	24,585	計
4,499	712	593	603	618	617	661	695	0 ～ 1
3,849	619	546	519	519	552	529	565	1 ～ 2
3,186	543	466	451	402	430	404	490	2 ～ 3
3,067	482	488	434	401	408	426	428	3 ～ 4
2,903	463	454	400	394	426	399	367	4 ～ 5
3,367	544	535	467	439	460	475	447	5 ～ 6
4,298	638	692	606	618	580	613	551	6 ～ 7
5,590	696	939	805	741	829	831	749	7 ～ 8
7,939	930	1,484	1,186	1,146	1,137	1,145	911	8 ～ 9
10,815	1,152	1,878	1,613	1,581	1,595	1,572	1,424	9 ～ 10
11,491	1,336	1,926	1,702	1,672	1,628	1,756	1,471	10～11
10,875	1,370	1,709	1,579	1,526	1,531	1,655	1,505	11～12
10,557	1,311	1,632	1,456	1,520	1,555	1,558	1,525	12～13
9,941	1,271	1,566	1,427	1,389	1,436	1,481	1,371	13～14
9,527	1,207	1,398	1,343	1,402	1,341	1,468	1,368	14～15
9,111	1,197	1,337	1,235	1,283	1,355	1,439	1,265	15～16
9,098	1,219	1,373	1,313	1,284	1,269	1,332	1,308	16～17
9,504	1,277	1,435	1,337	1,384	1,355	1,380	1,336	17～18
9,310	1,285	1,416	1,298	1,294	1,353	1,331	1,333	18～19
8,749	1,304	1,234	1,227	1,272	1,209	1,238	1,265	19～20
8,099	1,126	1,152	1,114	1,077	1,155	1,199	1,276	20～21
7,203	1,046	1,049	959	989	1,004	1,045	1,111	21～22
6,352	940	843	905	841	842	1,002	979	22～23
5,366	769	735	721	699	736	861	845	23～24

第8表

事故種別出場件数及び搬送人員

事故種別	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	218,050	29,878	32,967	30,658	30,387	30,762	32,233	31,165
	174,696	23,437	26,880	24,700	24,491	24,803	25,800	24,585
火 災	711	82	117	108	72	97	143	92
	160	15	29	18	10	24	51	13
自然災害	14	－	13	－	－	－	－	1
	12	－	11	－	－	－	－	1
水 難	84	18	12	10	12	14	11	7
	33	7	2	6	4	7	6	1
交 通	12,917	1525	1883	1831	1825	1952	2000	1901
	10,567	1237	1558	1481	1504	1616	1641	1530
労働災害	1,414	96	228	191	217	264	237	181
	1,383	92	224	188	213	259	233	174
運動競技	629	209	50	41	84	62	52	131
	616	206	49	40	82	61	49	129
一般負傷	35,724	5,263	5,017	4,954	4,899	4,908	5,268	5,415
	26,264	3853	3734	3656	3591	3633	3845	3952
加 害	1,968	374	230	255	257	246	256	350
	1,175	205	134	155	158	157	151	215
自損行為	2,261	340	325	358	322	326	293	297
	1,428	232	191	211	213	217	184	180
急 病	149,956	21081	22966	20923	20756	21168	21848	21214
	121,533	16813	18943	17082	16896	17210	17639	16950
そ の 他	12,372	890	2126	1987	1943	1725	2125	1576
	11,525	777	2005	1863	1820	1619	2001	1440

(注) 上段 … 出場件数(件)

下段 … 搬送人員(人)

第9表

日別出場件数

(単位:件)

日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	17,527	15,300	17,914	17,987	16,847	16,774	19,861	21,100	17,878	18,647	18,091	20,124
1日	600	574	662	559	592	558	586	700	698	650	692	604
2日	595	535	519	644	545	551	579	737	650	650	642	589
3日	587	500	545	641	554	555	606	607	672	604	583	691
4日	693	582	596	561	621	507	605	734	667	635	644	647
5日	607	534	574	650	594	522	671	704	604	567	613	604
6日	610	561	568	560	624	527	633	683	679	565	632	657
7日	579	477	533	569	564	602	605	653	620	604	589	632
8日	606	553	550	556	551	539	534	643	589	561	643	599
9日	621	499	550	586	531	535	635	717	559	604	576	604
10日	617	558	526	588	600	529	667	699	653	607	520	661
11日	582	535	639	580	540	576	564	684	658	594	581	644
12日	570	535	557	632	454	561	624	684	593	581	602	626
13日	596	517	514	605	509	511	590	670	643	573	630	600
14日	576	499	559	613	578	580	607	639	586	546	583	612
15日	562	590	598	586	539	558	590	657	575	637	582	662
16日	539	485	569	633	518	542	638	679	561	602	593	610
17日	500	498	554	550	623	573	662	670	510	483	568	627
18日	582	550	589	568	538	521	660	696	547	660	557	622
19日	503	585	595	663	521	523	691	670	577	560	636	682
20日	541	592	569	599	557	518	611	648	542	515	606	672
21日	555	541	541	611	522	648	679	667	625	588	568	630
22日	567	693	648	594	490	572	696	657	599	673	641	556
23日	511	530	566	623	517	570	689	740	549	627	510	660
24日	493	537	582	621	523	581	672	633	574	559	579	666
25日	562	515	558	593	515	549	649	674	535	616	599	658
26日	605	557	620	613	487	570	731	687	537	565	635	613
27日	509	566	592	591	490	553	679	697	625	581	594	756
28日	490	602	584	606	538	614	641	711	586	620	578	748
29日	539		643	548	551	590	708	640	490	690	657	741
30日	540		592	644	501	639	658	691	575	680	658	782
31日	490		622		560		701	729		650		669

第10表

発生場所別救急活動状況

発 生 場 所	計	急 病	一 般	交 通	そ の 他
計	218,050	149,956	35,724	12,917	19,453
	174,696	121,533	26,264	10,567	16,332
住 宅	122,594	101,360	17,585	128	3,521
	99,768	84,427	13,445	114	1,782
公衆出入り場所	49,939	29,647	7,086	201	13,005
	43,518	24,999	5,810	155	12,554
仕 事 場	5,563	3,900	423	15	1,225
	5,088	3,627	336	14	1,111
阪 神 高 速 道 路	278	31	7	228	12
	221	23	1	194	3
近 畿 自 動 車 道	6	2	1	3	
	5	2		3	
そ の 他 の 道 路	35,095	12,647	9,118	12,150	1,180
	22,876	6,753	5,592	9,930	601
軌 道 上	52	1	33	12	6
	38	1	22	9	6
水 上	147	1	28	1	117
	61	1	3	1	56
公衆の乗降する 運 輸 機 関 内	852	718	84	33	17
	700	587	72	28	13
そ の 他 の 運 輸 機 関 内	340	288	24	13	15
	268	227	14	15	12
そ の 他 の 屋 内	596	417	124		55
	437	316	91		30
そ の 他 の 屋 外	2,588	944	1,211	133	300
	1,716	570	878	104	164

(注) 上段 … 出場件数(件)

下段 … 搬送人員(人)

第11表

活動区分別出場件数

区 分	件 数	(搬送人員)	区 分	件 数
計	218,050	(174696)		
傷病者搬送	174,190	(174696)	医師搬送	3
選 択	94,244	(94680)	処 置	1
依 頼	68,427	(68491)	指 示	-
転 院	11,519	(11525)	確 認	1
不搬送	43,855	-	そ の 他	1
他 隊 搬 送	25	-	資 器 材 等 輸 送	2
拒 否	28,260	-	血 液	-
死 亡	3,413	-	医 薬 品	-
傷病者無	2,984	-	資 器 材	2
誤報・いたずら	1,034	-		
辞 退	3,745	-		
そ の 他	4,394	-		

第12表

理由別不搬送件数

(単位:件)

理 由	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	43,855	558	2	51	2,656	32	16	9,491	815	834	28,552	848
拒 否	28,260	14	-	5	2,090	22	12	6,179	690	498	18,730	20
死 亡	3,413	7	-	32	4	1	-	377	3	243	2,728	18
傷病者無	2,984	502	1	8	214	-	-	1,880	17	11	205	146
他 隊 搬 送	25	-	1	-	2	-	-	-	-	-	22	-
誤 報 等	1,034	2	-	1	8	-	-	282	8	3	208	522
辞 退	3,745	5	-	-	203	6	2	489	71	58	2,878	33
そ の 他	4,394	28	-	5	135	3	2	284	26	21	3781	109

第13表

医療機関開設主体別搬送人員

(単位:人)

区分	合 計	市 域 内					市 域 外									
		小 計	急 病	一 般	交 通	そ の 他	府 下					府 外				
							小	急	一	交	そ の 他	小	急	一	交	そ の 他
合計	174,696	158,978	110,309	24,637	9,850	14,182	15,383	11,019	1,616	709	2,039	335	205	11	8	111
国 立	9,079	8,220	5,961	905	313	1,041	790	544	21	8	217	69	45	1	1	22
公 立	12,625	10,330	6,858	965	366	2,141	2,122	1,728	97	36	261	173	105	8	6	54
上記以外 の 公 的	18,350	17,087	11,977	2,497	809	1,804	1,263	989	128	38	108	0	0	0	0	0
私 的																
病 院	133,527	122,264	84,704	20,084	8,332	9,144	11,170	7,722	1,370	626	1,452	93	55	2	1	35
診 療 所	1,113	1,075	807	186	30	52	38	36	0	1	1	0	0	-	-	-
その他の 場 所	2	2	2	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二次・三次 医療機関	162,234	146,977	102,089	22,968	9,450	12,470	14,922	10,743	1,589	703	1,887	335	205	11	8	111
国 立	8,858	8,219	5,960	905	313	1,041	570	416	11	4	139	69	45	1	1	22
公 立	9,141	6,920	4,586	708	318	1,308	2,048	1,685	94	36	233	173	105	8	6	54
上記以外 の 公 的	12,462	11,202	8,030	1,525	538	1,109	1,260	986	128	38	108	0	-	-	-	-
私 的																
病 院	131,716	120,579	83,460	19,830	8,281	9,008	11,044	7,656	1,356	625	1,407	93	55	2	1	35
診 療 所	57	57	53	-	-	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
初期 医療機関	438	412	314	69	0	29	26	14	5	4	3	0	-	-	-	-
国 立	25	-	-	-	-	-	25	13	5	4	3	-	-	-	-	-
公 立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上記以外 の 公 的	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私 的																
病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
診 療 所	413	412	314	69	-	29	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の 医療機関	12,022	11,587	7,904	1,600	400	1,683	435	262	22	2	149	0	-	-	-	-
国 立	196	1	1	-	-	-	195	115	5	-	75	-	-	-	-	-
公 立	3,484	3,410	2,272	257	48	833	74	43	3	-	28	-	-	-	-	-
上記以外 の 公 的	5,888	5,885	3,947	972	271	695	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-
私 的																
病 院	1,811	1,685	1,244	254	51	136	126	66	14	1	45	-	-	-	-	-
診 療 所	643	606	440	117	30	19	37	35	-	1	1	-	-	-	-	-
その他の 場 所	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第14表

傷病程度別搬送人員

(単位:人)

程 度	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	174,696	160	12	33	10,567	1,383	616	26,264	1,175	1,428	121,533	11,525
軽 症	93,126	69	9	3	8,636	954	517	17,226	1,074	648	62,620	1,370
中等症	77,870	45	2	11	1,813	404	96	8,726	94	559	56,172	9,948
重 症	1,528	17	－	4	90	19	2	140	6	77	976	197
死 亡	2,170	29	1	15	28	6	1	172	1	144	1,763	10
不 詳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－

第15表

診療科目別搬送人員

(単位:人)

診 療 科 目	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	不 詳
計	174,696	93,126	77,870	1,528	2,170	2
内 科	48,586	27,701	20,412	177	296	－
循環器系内科	15,971	6,131	7,651	702	1,487	－
呼吸器内科	20,241	4,625	15,331	244	41	－
小 児 科	6,278	4,931	1,331	6	10	－
外 科 一 般	6,481	3,216	2,761	208	296	－
整形外科	26,250	15,173	11,044	32	1	－
脳神経外科	32,763	20,584	11,999	147	33	－
産 婦 人 科	2,218	1,070	1,147	1	－	－
泌尿器科	8,099	3,911	4,177	9	2	－
耳鼻咽喉科	4,862	4,042	820	－	－	－
眼 科	466	330	136	－	－	－
新生児科	43	11	31	1	－	－
皮膚科	962	500	462	－	－	－
精神科	1,335	801	534	－	－	－
その他の	141	100	34	1	4	2

第16表

傷病種別搬送状況

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
計	174,696	循環器系 心疾患	11,675
感染症及び寄生虫症	9,893	急性リウマチ熱	-
腸管感染症	1,021	慢性リウマチ性心疾患	2
結核	116	高血圧性疾患	1,199
その他の細菌性疾患	428	狭心症	830
ウイルス肝炎	11	急性心筋梗塞	1,313
その他のウイルス疾患	6,756	その他の虚血性心疾患	278
寄生虫症	19	肺性心疾患、肺循環疾患	140
その他の感染症	1,542	その他の型の心疾患	5,914
新生物	3,079	動脈、細動脈、毛細血管の疾患	980
口唇、口腔、咽頭の悪性新生物	67	静脈、リンパ管、リンパ節の疾患	203
消化器の悪性新生物	1,316	循環器系のその他の疾患	816
呼吸器、胸腔内臓器の悪性新生物	756	循環器系 脳疾患	7,536
骨、関節軟骨の悪性新生物	51	くも膜下出血	448
皮膚の悪性新生物	7	脳内出血	1,883
中皮、軟部組織の悪性新生物	19	脳梗塞	4,397
乳房の悪性新生物	111	その他の脳血管疾患	808
女性性器の悪性新生物	130	呼吸器系	12,365
男性性器の悪性新生物	84	上気道の疾患	1,576
尿路の悪性新生物	140	インフルエンザ	20
眼、脳、中枢神経系の悪性新生物	157	肺炎	7,733
内分泌腺の悪性新生物	19	慢性閉塞性肺疾患	539
部位不明、続発部位の悪性新生物	19	喘息	688
リンパ組織、造血器の悪性新生物	147	下気道のその他の疾患	392
独立した多部位の悪性新生物	2	呼吸器系のその他の疾患	1,417
上皮内新生物	2	消化器系	16,491
良性新生物	19	口腔、唾液腺、顎の疾患	86
性状不詳または不明の新生物	33	上部消化管の疾患	3,697
血液・造血器疾患、免疫機構障害	673	急性虫垂炎	674
貧血	462	ヘルニア	274
凝固障害、紫斑病、出血性病態	50	下部消化管のその他の疾患	6,563
血液、造血器のその他の疾患	115	腹膜の疾患	199
免疫機構の障害	46	肝疾患	1,029
内分泌、栄養及び代謝疾患	5,331	胆のう、胆管、膵の障害	2,979
甲状腺障害	61	消化器系のその他の疾患	990
糖尿病	634	皮膚及び皮下組織の疾患	1,170
その他の内分泌腺障害	127	皮膚、皮下組織の感染症	612
栄養欠乏症	101	皮膚、皮下組織のその他の疾患	558
肥満(症)、その他の過栄養	5	筋骨格系及び結合組織の疾患	4,393
代謝障害	4,403	関節障害	1,055
精神及び行動の障害	1,432	全身性結合組織障害	36
症状性を含む器質性精神障害	101	脊柱障害	1,751
精神作用物質による障害	141	軟部組織障害	987
統合失調症型障害、妄想性障害	262	骨障害、軟骨障害	61
気分[感情]障害	321	筋骨格、結合組織のその他の疾患	503
精神、行動のその他の障害	607	腎尿路生殖器系の疾患	8,708
神経系及び感覚器の疾患	8,713	腎不全	717
中枢神経系の炎症性疾患	191	尿路結石症	2,120
挿間性、発作性障害	3,103	腎、尿管のその他の疾患	1,893
麻痺性症候群	76	膀胱、尿道のその他の疾患	2,551
神経系のその他の疾患	710	男性生殖器の疾患	269
眼及び付属器の疾患	357	乳房、女性生殖器の疾患	1,078
耳及び乳様突起の疾患	4,276	生殖器系のその他の疾患	80

(単位:人)

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
妊婦、分娩及び産褥	857	切断創	128
分娩	88	轢過創	3
流産に終わった妊娠	154	剥皮創	103
妊娠に関連する母体障害	213	咬創	84
分娩の合併症	162	射創	-
産褥に関連する合併症	17	擦過創	851
その他の産科的病態	223	開放性骨折	259
		その他の開放性外傷	355
周産期に発生した病態	41	多発外傷	317
出産外傷	-	全身打撲骨折	65
周産期に発生したその他の病態	41	頭部及び体幹部骨折	19
先天奇形、変形、及び染色体異常	11	頭部及び上肢骨折	5
		頭部及び下肢骨折	8
症状、徴候及び診断名不明確	33,919	開放創及び骨折	25
循環器系及び呼吸器系	6,858	その他の多発外傷	195
消化器系及び腹部	4,286		
皮膚及び皮下組織	79	その他の外傷	608
神経系及び筋骨格系	767	爆創	-
尿路系	594	熱傷	394
認識、知覚、情緒状態及び行動	2,002	凍傷	1
言語及び音声	66	電撃傷	9
全身症状及び徴候	17,872	化学物質損傷	14
血液検査の異常、診断名記載なし	104	放射線損傷	-
尿検査の異常、診断名記載なし	1	その他の外傷	190
その他検査異常、診断名記載なし	60		
画像診断及び機能検査の異常	5	異物、誤飲	671
診断名不明確及び原因不明の死亡	1,225	外眼異物	26
		耳内異物	8
神経・脊椎損傷	966	気道内異物	196
頸髄損傷	165	消化管内異物	362
胸髄損傷	2	尿路性器内異物	3
腰髄損傷	6	その他の異物	76
上肢の神経損傷	7		
下肢の神経損傷	3	窒息	180
頸椎捻挫等	469	酸素欠乏症	9
胸椎捻挫等	7	気道閉塞	171
腰椎捻挫等	258		
その他の神経損傷	49	中毒	4,440
内部損傷	1,859	薬物中毒	989
頭蓋内損傷	1,593	麻薬、覚醒剤	18
気胸・血胸	137	ガス中毒	75
心肺損傷	43	食物中毒(細菌性を除く)	14
腹腔内臓器損傷	66	急性アルコール中毒	3,290
骨盤腔内臓器損傷	20	その他の中毒	54
その他の閉鎖性の外傷	26,912	熱中症	943
打撲	12,303	溺水	82
捻挫	795		
脱臼	808	外因のその他	1,042
非開放性骨折	11,623		
その他の閉鎖性外傷	1,383	医療機関以外の場所への搬送	2
開放性の外傷	10,387		
挫創	6,880		
切創	1,146		
裂創・割創	465		
刺創	113		

第17表

年齢層別搬送人員

(単位:人)

年 齢 層	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	不 詳
計	174,696	93,126	77,870	1,528	2,170	2
新 生 児 (生後28日未満)	63	21	41	1	—	—
乳 幼 児 (28 日 ～ 6 歳)	7,059	5,804	1,236	8	11	—
少 年 (7 歳 ～ 17 歳)	4,143	3,388	736	13	6	—
成 人 (18 歳 ～ 64 歳)	67,672	45,603	21,125	483	460	1
高 齢 者 (65 歳 以 上)	95,759	38,310	54,732	1,023	1,693	1

第18表

性別、事故種別搬送人員

(単位:人)

	計	0歳～ 9歳	10歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳 以上	65歳 以上 (再掲)
計	174,696	8,069	5,117	14,885	11,351	13,478	17,821	18,213	85,762	95,758
性別										
男	90,943	4,737	2,644	6,518	5,610	7,916	11,239	11,816	40,463	46,973
女	83,753	3,332	2,473	8,367	5,741	5,562	6,582	6,397	45,299	48,785
事故種別										
火 災	160	1	4	23	24	15	28	19	46	57
自然災害	12	—	—	—	1	—	1	1	9	10
水 難	33	1	1	2	4	2	6	3	14	14
交 通	10,567	539	788	1618	1252	1421	1479	1104	2,366	2,898
労働災害	1,383	—	43	264	225	255	299	166	131	206
運動競技	616	19	318	119	61	41	27	12	19	24
一般負傷	26,264	2476	520	1040	838	1087	1863	2468	15,972	17,354
加 害	1,175	12	60	261	202	225	185	98	132	182
自損行為	1,428	—	141	452	226	235	149	76	149	179
急 病	121,533	4632	3069	10601	7799	9472	12661	12960	60,339	67,502
そ の 他	11,525	389	173	505	719	725	1123	1306	6,585	7,332

第19表

所要時間別搬送人員

(単位:人)

事故種別	計	119番入電から医療機関に収容(医師に引継ぎ)するまでに要した時間					
		10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
計	174,696	27	2,915	44,335	109,477	15,706	2,236
軽 症	93,126	5	1,431	24,822	59,636	6,842	390
中 等 症	77,870	10	1,333	18,224	47,830	8,669	1,804
重 症	1,528	12	56	457	856	117	30
死 亡	2,170	-	95	831	1,154	78	12
不 詳	2	-	-	1	1	-	-

第20表

転院搬送人員

(単位:人)

区 分	計	救 急 医 療 機 関					そ の 他 の 医 療 機 関				
		国 立	公 立	の左 記 公以 的外	私 的		国 立	公 立	の左 記 公以 的外	私 的	
					病 院	診 療 所				病 院	診 療 所
依頼医療機関	11,525	185	8	443	5,229	3,969	24	5	125	898	639
受入医療機関	11,525	996	1,236	926	6,661	15	75	839	605	164	8

第21表

理由別転院搬送人員

(単位:人)

理 由	計	内 科	循 環 器 系 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科 一 般	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	産 婦 人 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	新 生 児 科	皮 膚 科	精 神 科	そ の 他
計	11,525	2,523	2,038	1,875	338	675	804	1,685	586	505	179	162	14	47	87	7
ベッド満床	292	79	21	87	7	6	39	18	3	21	5	-	-	2	4	-
専 門 外	1,270	188	223	122	12	47	66	415	46	79	10	5	-	5	51	1
病 床 な し	199	45	19	63	4	8	30	9	5	7	2	-	-	-	6	1
処 置 困 難	8,853	2,028	1,699	1,484	198	592	614	1,190	520	366	76	12	11	37	22	4
そ の 他	405	98	60	90	11	19	54	39	6	16	6	-	1	1	4	-
後 送	506	85	16	29	106	3	1	14	6	16	80	145	2	2	-	1

※後送とは初期救急医療機関から、より高度な設備等を用いた処置を必要とする傷病者を指定の二次救急医療機関へ転院搬送したもの。

第22表

診療科目別転送状況

区 分	計	内 科	循 環 器 系 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科 一 般	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	産 婦 人 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	新 生 児 科	皮 膚 科	精 神 科	そ の 他
人 員	340	63	34	46	2	33	46	60	4	10	4	5	-	2	28	3
回 数	343	63	35	47	2	33	46	61	4	10	4	5	-	2	28	3
処置人員	181	31	22	29	2	23	19	30	1	2	1	3	-	-	18	-

第23表

理由別転送回数

(単位:回)

理 由	合 計	急 病	一 般 負 傷	交 通	そ の 他	救急医療機関					その他の医療機関				
						小 計	急 病	一 般 負 傷	交 通	そ の 他	小 計	急 病	一 般 負 傷	交 通	そ の 他
計	340	230	60	11	39	325	219	57	11	38	15	11	3	0	1
ベッド満床	29	27	-	-	2	29	27	-	-	2	0	-	-	-	-
専 門 外	102	61	20	8	13	101	61	19	8	13	1	-	1	-	-
病 床 なし	10	6	2	-	2	7	4	1	-	2	3	2	1	-	-
処 置 困 難	146	95	30	3	18	135	86	29	3	17	11	9	1	-	1
そ の 他	52	41	7	-	4	52	41	7	-	4	-	-	-	-	-
後 送	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	0	-	-	-	-

※後送とは初期救急医療機関へ救急搬送したもの内、より高度な設備等を用いた処置が必要であったため指定の二次救急医療機関に転送したもの。

第24表

回数別転送状況

(単位:人)

事 故 種 別	転送なし (A)	転 送 あ り				搬送人員 (C) = (A) + (B)	転送率(%) (B) / (C) × 100
		1 回	2 回	3回以上	小計(B)		
計	174,353	340	3	-	343	174,696	0.2
急 病	121,299	230	2	-	232	121,531	0.2
一 般 負 傷	26,203	60	1	-	61	26,264	0.2
交 通	10,556	11	-	-	11	10,567	0.1
そ の 他	16,295	39	-	-	39	16,334	0.2

第25表

要保護傷病者搬送状況

(単位:人)

行政区	計	内 科	循 環 器 系 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科 一 般	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	産 婦 人 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	新 生 児 科	皮 膚 科	精 神 科	そ の 他
計	799	289	74	54	13	64	100	133	8	23	16	1	1	13	9	1
北	48	16	5	4	—	1	7	6	—	1	1	—	—	3	4	—
都 島	28	8	1	3	2	1	2	6	—	4	—	—	—	—	1	—
福 島	9	3	1	—	1	—	1	2	—	—	—	1	—	—	—	—
此 花	7	3	1	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
中 央	55	25	2	4	—	9	6	4	3	—	1	—	1	—	—	—
西	17	5	2	—	—	6	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—
港	22	9	—	3	—	1	4	2	—	—	2	—	—	1	—	—
大 正	26	10	3	2	1	1	2	4	1	—	1	—	—	—	—	1
天王寺	18	9	2	—	—	—	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—
浪 速	56	20	3	1	—	4	8	16	1	1	—	—	—	—	2	—
西淀川	16	5	3	—	—	1	2	4	1	—	—	—	—	—	—	—
淀 川	37	16	4	3	—	2	6	4	—	2	—	—	—	—	—	—
東淀川	30	8	4	1	—	5	1	6	—	2	3	—	—	—	—	—
東 成	31	10	2	4	3	1	4	5	—	—	2	—	—	—	—	—
生 野	31	10	4	3	1	3	4	2	—	4	—	—	—	—	—	—
旭	12	7	1	—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—
城 東	27	9	3	2	1	1	3	5	—	2	1	—	—	—	—	—
鶴 見	20	7	2	2	2	1	2	1	—	2	—	—	—	1	—	—
阿倍野	21	7	3	2	—	1	4	3	—	—	—	—	—	1	—	—
住之江	28	7	2	1	1	4	3	10	—	—	—	—	—	—	—	—
住 吉	18	9	1	1	—	—	3	—	—	4	—	—	—	—	—	—
東住吉	26	6	3	3	1	3	4	3	—	—	1	—	—	2	—	—
平 野	16	5	1	1	—	1	2	5	1	—	—	—	—	—	—	—
西 成	199	74	21	14	—	18	20	39	1	1	4	—	—	5	2	—
水 上 区	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市域外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第26表

救急車走行距離及び所要時間

隊	出場件数	出場 → 帰署(所)				出場	
		走行距離(km)		所要時間(分)		走行距離(km)	
		延	平均	延	平均	延	平均
計	218,050	2,021,638.4	9.3	13,270,084	60.9	377,881.8	1.7
本部	1,396	23,268.5	16.7	105,820	75.8	3,947.3	2.8
北	1,404	19,997.7	14.2	114,925	81.9	3,526.6	2.5
都	274	2,253.8	8.2	14,428	52.7	489.0	1.8
島	3,515	31,192.9	8.9	221,888	63.1	5,901.6	1.7
福	3,488	25,057.2	7.2	204,722	58.7	5,396.6	1.5
花	3,980	25,918.3	6.5	216,752	54.5	6,342.7	1.6
中	3,148	24,509.9	7.8	187,353	59.5	5,977.7	1.9
央	3,508	31,037.3	8.8	226,441	64.5	6,322.2	1.8
西	1,441	11,539.3	8.0	186,800	129.6	2,780.4	1.9
大	3,343	24,394.8	7.3	186,800	55.9	5,778.4	1.7
天	2,961	28,489.1	9.6	168,737	57.0	5,550.9	1.9
王	2,433	18,709.3	7.7	129,532	53.2	4,341.7	1.8
寺	2,645	24,030.7	9.1	150,713	57.0	5,319.1	2.0
浪	2,475	21,951.1	8.9	137,635	55.6	4,844.8	2.0
速	3,196	31,644.1	9.9	201,730	63.1	5,138.9	1.6
西	3,535	26,644.6	7.5	205,586	58.2	4,079.1	1.2
淀	3,226	24,917.8	7.7	199,399	61.8	4,439.3	1.4
川	3,071	25,840.3	8.4	171,085	55.7	5,320.4	1.7
淀	2,872	31,022.4	10.8	185,747	64.7	4,629.3	1.6
川	3,339	31,088.9	9.3	197,926	59.3	4,743.5	1.4
東	3,184	28,072.5	8.8	186,158	58.5	5,056.3	1.6
淀	2,633	21,664.0	8.2	154,456	58.7	4,245.7	1.6
川	3,491	27,964.8	8.0	203,203	58.2	5,483.0	1.6
東	1,431	12,297.2	8.6	88,038	61.5	2,543.1	1.8
成	3,076	27,035.5	8.8	164,043	53.3	4,534.4	1.5
生	2,852	26,967.1	9.5	160,686	56.3	4,281.2	1.5
野	3,611	27,725.2	7.7	200,422	55.5	4,505.7	1.2
旭	3,044	24,361.4	8.0	177,602	58.3	4,643.2	1.5
城	3,378	29,464.0	8.7	193,016	57.1	5,397.2	1.6
東	2,770	22,984.0	8.3	152,495	55.1	4,519.5	1.6
成	3,478	31,505.8	9.1	212,921	61.2	7,076.8	2.0
野	3,328	30,804.3	9.3	202,155	60.7	6,652.5	2.0
旭	2,532	27,015.6	10.7	168,820	66.7	4,855.6	1.9
城	4,030	33,487.9	8.3	219,968	54.6	7,428.8	1.8
東	3,693	35,548.6	9.6	208,696	56.5	6,182.9	1.7
成	4,074	33,422.5	8.2	217,237	53.3	8,043.0	2.0
野	3,402	27,371.5	8.0	195,980	57.6	5,468.7	1.6
旭	3,200	26,140.1	8.2	185,199	57.9	5,043.5	1.6
城	3,202	29,882.8	9.3	213,130	66.6	5,161.4	1.6
東	2,821	26,544.0	9.4	197,500	70.0	4,278.9	1.5
成	3,030	33,217.2	11.0	212,341	70.1	5,199.0	1.7
野	3,818	34,733	9.1	221,409	58.0	7,827.8	2.1
旭	3,676	32,757	8.9	199,719	54.3	7,382.5	2.0
城	3,847	31,879	8.3	220,947	57.4	7,088.0	1.8
東	3,647	30,060	8.2	204,905	56.2	6,792.3	1.9
成	3,395	31,173	9.2	216,324	63.7	6,071.1	1.8
野	3,041	29,049	9.6	194,225	63.9	5,476.0	1.8
旭	2,883	26,410	9.2	173,053	60.0	5,091.0	1.8
城	3,299	32,329	9.8	217,493	65.9	5,764.7	1.7
東	3,231	33,255	10.3	204,007	63.1	5,582.2	1.7
成	3,416	32,465.4	9.5	220,193	64.5	6,402.9	1.9
野	4,304	44,581.7	10.4	241,349	56.1	7,921.5	1.8
旭	1,695	18,535.7	10.9	100,925	59.5	3,392.5	2.0
城	1,705	36,123.8	21.2	125,863	73.8	4,478.7	2.6
東	3,353	33,358.7	9.9	210,995	62.9	6,518.6	1.9
成	3,167	30,320.1	9.6	203,395	64.2	5,604.5	1.8
野	3,442	34,183.6	9.9	209,326	60.8	5,547.8	1.6
旭	3,519	38,978.8	11.1	243,286	69.1	6,684.4	1.9
城	1,605	18,289.0	11.4	116,275	72.4	3,288.8	2.0
東	3,277	36,749.9	11.2	215,686	65.8	6,406.6	2.0
成	3,364	38,118.8	11.3	210,868	62.7	6,398.0	1.9
野	3,176	35,781.8	11.3	193,730	61.0	6,015.3	1.9
旭	3,206	37,178.6	11.6	179,525	56.0	5,130.2	1.6
城	3,745	40,412.5	10.8	235,730	62.9	6,174.5	1.6
東	3,631	34,279.2	9.4	222,002	61.1	6,037.1	1.7
成	3,447	31,839.2	9.2	205,580	59.6	5,795.2	1.7
野	4,245	25,512	6.0	227,140	53.5	4,203.3	1.0
旭	4,185	24,994	6.0	217,343	51.9	4,172.0	1.0
城	2,973	27,253.1	9.2	176,662	59.4	5,579.8	1.9
東	1,993	31,278.7	15.7	145,211	72.9	5,120.2	2.6
成	-	-	-	-	-	-	-
野	2,255	22,775.3	10.1	188,833	83.7	4,464.4	2.0

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。

▶ 現場		傷病者 搬送件数	現場 → 病院				隊			
所要時間(分)			走行距離(km)		所要時間(分)					
延	平均		延	平均	延	平均				
1,195,959	5.5	174,696	750,004.8	4.3	5,404,650	30.9	計			
10,241	7.3	1,202	9,377.4	7.8	38,129	31.7	本部救急隊			
9,503	6.8	1,182	7,739.1	6.5	36,859	31.2				
1,515	5.5	246	813.4	3.3	5,523	22.5				
19,571	5.6	2,835	11,893.0	4.2	86,755	30.6	北	南浮大	北森	町田
18,170	5.2	2,789	8,875.8	3.2	83,384	29.9				
20,066	5.0	3,109	8,746.3	2.8	87,627	28.2				
17,226	5.5	2,570	8,417.4	3.3	75,086	29.2	都島	大	淀島	町1
20,331	5.8	2,933	11,382.4	3.9	91,026	31.0				
8,461	5.9	1,220	3,950.9	3.2	35,178	28.8				
17,986	5.4	2,643	8,288.4	3.1	75,864	28.7	福島	東福海	島野	田島
16,947	5.7	2,498	11,092.4	4.4	67,763	27.1				
13,009	5.3	2,088	6,692.1	3.2	55,000	26.3				
16,456	6.2	2,206	9,183.1	4.2	60,217	27.3	此花	此	老花	江1
13,945	5.6	2,127	8,431.2	4.0	59,786	28.1				
15,620	4.9	2,577	11,764.0	4.6	78,759	30.6				
17,891	5.1	2,351	8,704.9	3.7	75,184	32.0	中央	中道	上	央堀
16,911	5.2	2,387	8,673.6	3.6	78,857	33.0				
15,079	4.9	2,547	9,979.4	3.9	69,804	27.4				
15,500	5.4	2,437	12,148.4	5.0	74,413	30.5	西	江新	戸	堀町
16,989	5.1	2,691	11,863.7	4.4	78,105	29.0				
17,099	5.4	2,706	10,667.9	3.9	75,912	28.1				
13,506	5.1	2,271	8,546.8	3.8	67,821	29.9	大	天	王	正
17,993	5.2	2,850	10,818.1	3.8	86,719	30.4				
7,868	5.5	1,225	4,668.3	3.8	37,587	30.7				
14,420	4.7	2,269	10,158.6	4.5	66,134	29.1	浪速	天	王	署
13,281	4.7	2,205	10,090.9	4.6	64,793	29.4				
15,216	4.2	2,508	10,149.9	4.0	78,979	31.5				
13,220	4.3	2,352	8,881.2	3.8	75,190	32.0	西淀川	浪速	浪速	美(出)
17,918	5.3	2,890	11,799.0	4.1	80,560	27.9				
14,426	5.2	2,450	9,160.6	3.7	67,138	27.4				
24,480	7.0	2,845	11,638.7	4.1	89,306	31.4	淀川	大	淀和	川田
22,201	6.7	2,776	11,601.5	4.2	83,519	30.1				
15,645	6.2	2,059	9,548.1	4.6	65,471	31.8				
23,958	5.9	3,435	12,944.4	3.8	95,500	27.8	東淀川	東小	淀	川
19,852	5.4	3,121	13,550.2	4.3	87,593	28.1				
24,586	6.0	3,380	12,009.5	3.6	89,714	26.5				
17,587	5.2	2,663	9,754.3	3.7	79,398	29.8	東成	東	淡	成
17,484	5.5	2,579	9,766.7	3.8	78,662	30.5				
16,420	5.1	2,563	10,731.7	4.2	85,162	33.2				
15,077	5.3	2,235	9,850.1	4.4	81,050	36.3	生野	生	中	野川
16,078	5.3	2,536	12,722.4	5.0	87,263	34.4				
22,436	5.9	3,089	12,159.5	3.9	94,676	30.6				
20,500	5.6	2,943	11,330.7	3.9	84,058	28.6	旭	旭	旭	1
22,491	5.8	3,333	10,820.2	3.2	93,826	28.2				
20,971	5.8	3,067	10,265.0	3.3	83,666	27.3				
19,526	5.8	2,904	11,278.5	3.9	87,963	30.3	城東	城	東	2
18,800	6.2	2,730	11,254.1	4.1	88,133	32.3				
16,696	5.8	2,496	10,106.0	4.0	77,107	30.9				
19,371	5.9	2,602	11,828.3	4.5	91,766	35.3	鶴見	鶴	見	1
17,130	5.3	2,620	12,418.2	4.7	87,258	33.3				
20,830	6.1	2,519	11,179.6	4.4	92,011	36.5				
22,142	5.1	3,368	16,980.2	5.0	100,772	29.9	阿倍野	阿	倍	野
9,900	5.8	1,413	6,914.5	4.9	41,819	29.6				
10,606	6.2	1,466	15,226.6	10.4	54,414	37.1				
21,316	6.4	2,553	11,985.2	4.7	87,687	34.3	住之江	住	之	江
18,915	6.0	2,389	11,385.5	4.8	87,462	36.6				
17,755	5.2	2,663	12,585.5	4.7	88,909	33.4				
22,090	6.3	2,716	14,139.2	5.2	99,932	36.8	住吉	住	吉	2
10,680	6.7	1,290	6,504.6	5.0	48,276	37.4				
18,511	5.6	2,570	13,332.5	5.2	85,042	33.1				
19,240	5.7	2,714	14,877.0	5.5	91,600	33.8	東住吉	東	住	吉
17,506	5.5	2,563	13,824.2	5.4	82,024	32.0				
15,375	4.8	2,532	13,906.8	5.5	73,428	29.0				
18,875	5.0	3,039	15,760.3	5.2	96,936	31.9	平野	平	長喜	野
18,972	5.2	2,780	12,668.1	4.6	92,818	33.4				
20,117	5.8	2,483	11,494.4	4.6	82,936	33.4				
16,789	4.0	2,798	9,443.6	3.4	90,356	32.3	西成	西	成	道
15,253	3.6	2,638	9,281.0	3.5	84,362	32.0				
17,192	5.8	2,361	9,719.7	4.1	73,814	31.3				
12,570	6.3	1,722	12,036.2	7.0	62,382	36.2	水航増強	津	空	上
-	-	-	-	-	-	-				
13,672	6.1	1,779	8,223.8	4.6	62,427	35.1				

第27表

覚知方法別受信件数

(単位:件)

計	119	救急安心センター	警察電話	加入電話	自己覚知	かけつけ	聴言障害	その他
218,050	206,541	3,480	4,850	1,685	431	736	4	323

第28表

PA連携活動支援種別状況

(単位:件)

計	救命	高速救急	人的補助	安全管理	情報収集	その他
5,571	5,128	260	70	36	18	59

第29表

他市町村との協力状況

市 町 村	市域外直接出場		市 町 村	中 継 活 動			
	件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)		他 市 救 急 隊 に		他 市 救 急 隊 から	
				件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)	件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)
合 計	45	21	合 計	-	-	-	-
府下			府下	-	-	-	-
八尾市	5	2					
東大阪市	12	8	府外	-	-	-	-
松原市	1	1					
摂津市	2	2					
守口市	4	2					
吹田市	4	1					
堺市	8	2					
茨木市	-	-					
豊中市	3	-					
門真市	-	-					
府外							
尼崎市	6	3					

第30表

応急手当普及啓発の実施状況

講 習 種 類	実施回数(回)	年延受講者(人)
救 命 入 門 コ ー ス	140	2,135
普 通 救 命 講 習	1,449	7,476
上 級 救 命 講 習	62	874
応 急 手 当 普 及 員 講 習	35	461
応 急 手 当 普 及 員 再 講 習	73	1,035
応 急 手 当 普 及 員 が 実 施 し た 講 習	918	14,972
応 急 手 当 指 導 員 講 習	2	139

第31表

救急活動状況の推移

区 分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出 場 件 数	229,013	242,612	245,105	217,430	218,050
搬 送 人 員	188,137	200,822	203,379	176,633	174,696
医 師 搬 送 件 数	4	6	10	9	3
資 器 材 等 輸 送 件 数	1	-	-	3	2
不 搬 送 件 数	41,591	42,620	42,482	41,291	43,855
地 域 別					
市 域 内 出 場 件 数	228,947	242,562	245,034	217,384	218,005
市 域 外 出 場 件 数	66	50	71	46	45
1 隊あたりの出場件数	3,635.1	3,851.0	3,829.8	3,151.1	3,115.0
1 隊あたりの搬送人員	2,986.3	3,187.7	3,177.8	2,559.9	2,495.7
1 日あたりの出場件数	627.4	664.7	671.5	594.1	597.4
1 日1隊あたりの出場件数	10.0	10.6	10.5	8.6	80.0
1 日あたりの最多出場件数	805	985	852	861	782
救 急 車 台 数					
常 備 車	63	63	64	69	70
予 備 車	16	16	16	18	18
人 口	2,713,157	2,725,006	2,740,202	2,750,995	2,748,839

第32表

年別救急活動状況

年	救 急 隊 数	出 場 件 数	搬 送 人 員
昭和24	1
25	3
26	3
27	3
28	3
29	3
30	3
31	3
32	3
33	5
34	5
35	5
36	7
37	7
38	8
39	21	20,317
40	21	31,986	26,735
41	22	36,911	31,568
42	22	39,796	33,409
43	24	45,248	38,215
44	24	51,600	42,704
45	24	57,830	47,654
46	26	61,835	52,146
47	26	66,369	56,615
48	26	73,634	63,443
49	28	72,436	62,126
50	31	74,988	63,953
51	32	74,945	64,232
52	33	78,212	68,617
53	34	78,739	69,157
54	35	79,925	70,802
55	36	83,889	75,068
56	37	84,041	75,367
57	37	88,029	78,755
58	37	89,325	80,195
59	37	90,173	80,878
60	38	93,043	83,958
61	38	93,140	84,423
62	38	97,872	88,397
63	38	101,810	92,203
平成元	38	106,551	97,538
2	39	113,217	103,574
3	42	116,823	107,302
4	42	117,027	107,471
5	46	120,779	111,022
6	46	123,438	113,029
7	46	135,026	123,161
8	48	139,887	127,540
9	49	141,687	128,559
10	50	150,687	135,235
11	50	153,578	137,976
12	50	164,973	148,075
13	50	174,881	155,554
14	50	178,349	158,044
15	50	187,396	165,760
16	50	194,685	172,572
17	50	202,468	178,647
18	50	205,036	179,675
19	59	204,373	173,923
20	60	193,368	161,251
21	60	197,366	161,251
22	60	205,068	165,189
23	60	210,194	166,721
24	60	214,953	170,801
25	60	220,131	175,787
26	60	218,281	176,408
27	60	219,876	178,907
28	60	226,048	183,938
29	63	229,013	188,137
30	63	242,612	200,882
令和元	64	245,105	203,379
2	69	217,430	176,633
3	70	218,050	174,696

参 考 資 料

昭和50年以降の特異救急事故

年別	発生日時		事故発生場所	事故種別	傷病者				
	月日	時分			軽症	中等症	重症	死亡	合計
50	3・10	6:20	西成区萩之茶屋1丁目8-20 KK千成ホテル	火災	50	5	1	4	60
	4・17	21:54	東区杉山町1 熊谷組 森之宮工事現場地下作業場	火災	12	0	6	0	18
	4・29	22:28	大阪南港フェリー埠頭	水難	10	1	1	0	12
52	1・26	2:02	大正区三軒家東2丁目3-10 遠州屋	火災	0	0	0	5	5
	5・19	2:05	港区海岸通4-5 大阪港第8突堤 ユニオンオーストラリア号	労災	0	0	0	7	7
	6・24	1:18	大正区三軒家東5丁目3-27 柳井建設KK	火災	2	0	4	12	18
	7・10	13:30	港区田中3丁目1-5 大阪国際見本市会場 くみあい家具フェア	急病	350	449	1	0	800
	10・9	18:20	鶴見区鶴見1-6丁目全域	急病	77	0	10	0	87
	10・18	1:50	城東区中浜1丁目 全域	急病	45	18	0	0	63
54	1・26	14:35	住吉区万代東1丁目15 三菱銀行 北島支店	加害	16	13	0	5	34
	1・30	20:00	港区石田2丁目3 大阪港内 ホーロン号	急病	15	12	2	0	29
	5・21	13:56	阿倍野区美章園1丁目1-2 KK住吉ゴム	火災	0	0	0	7	7
55	5・26	17:02	西淀川区出来島2-2 国道43号線交差点	交通	13	3	0	0	16
	6・14	15:52	都島区高倉1丁目3-22 高倉幼稚園	急病	42	29	0	0	71
57	1・29	8:24	天王寺区悲田院町10-53 国鉄天王寺駅	交通	103	2	0	0	105
60	4・21	13:30	北区中之島5丁目3-51 大阪国際貿易センター	急病	21	16	0	0	37
	12・8	5:50	東住吉区桑津3丁目28-1 KK三和電器製作所	一般	118	4	0	0	122
61	2・12	2:23	西成区花園北2丁目17-20 東洋ハウス	火災	1	0	7	5	13
	2・28	2:03	生野区中川西2丁目2-4 大衆スタンド一福	火災	0	0	2	8	10
	5・5	18:09	北区梅田3丁目1-1 国鉄大阪駅西口	急病	7	14	0	0	21
63	5・18	1:52	港区海岸通1丁目5番街区 1号岸壁(中央突堤北岸壁) プレミアムーリエ号	火災	23	8	4	11	46

年 別	発生日時		事故発生場所	事 故 種 別	傷 病 者				
	月 日	時 分			軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	合 計
元	3・7	15:10	旭区太子橋1－26先 淀川河川	運動	14	0	0	3	17
	8・27	14:18	天王寺区悲田院町10－48 JR天王寺駅4番線	交通	46	0	0	0	46
2	4・2	12:15	花博会場内 街のエリア(守口市 域)ウォーターライド アドベンチャー・クルーズ	一般	19	2	3	0	24
	10・2	18:00	西成区萩之茶屋1丁目及び2丁目 西成警察周辺	一般	101	36	1	0	138
3	3・1	17:30	東成区大今里6丁目1－1 コクヨ(株)本社ビル	急病	8	17	0	0	25
5	3・24	3:23	大正区千島2丁目4－3 千島市営住宅3号棟	火災	20	0	0	0	20
	10・5	17:29	住之江区泉1丁目1 南港ポートタウン線 住之江公園 駅	交通	176(救急隊による搬送人員と現場処置数)				
7	3・2	9:30	平野区背戸口5丁目 阪神高速松原線上り6. 5KP	交通	39	0	0	0	39
	9・18	0:30	中央区心斎橋筋2丁目4－5 パブレストランいろはにほへと 宗右衛門町店	加害	23	0	0	0	23
9	8・4	15:30	平野区長吉長原西1丁目1－10 ダイエー長吉店	一般	28	12	0	0	40
	10・2	10:18	中央区城見2丁目1－61 ナショナルツインタワー2階2号 エスカレーター	一般	31	0	1	0	32
17	9・26	18:42	北区西天満6丁目7番2号 新日本梅新ビル	火災	20	6	0	0	26
18	12・12	21:53	此花区北港緑地2-3-75 ロッジ舞洲	急病	24	37	0	0	61
19	7・31	10:15	西区本田3丁目3番 阪神高速16号港線上り2.3KP	交通	32	1	0	0	33
20	10・1	2:59	浪速区難波中3丁目3番23号 個室ビデオキャッツ難波店	火災	3	3	4	15	25
21	7・5	16:16	此花区四貫島1丁目5番6号 児島建設ビル1階 cross-ニコニコ(パチンコ店)	火災	4	3	5	4	16
22	2・3	10:21	住之江区粉浜2丁目6番6号 市立粉浜小学校	火災	31	1	0	0	32
	12・10	11:05	中央区久宝寺町3丁目1番9号 株式会社ヒガシトゥエンティワン 本社ビル	火災	12	0	1	0	13
24	8・18	14:17	東住吉区長居公園1番 長居公園	自然	8	1	0	2	11
3	12・17	10:18	北区曽根崎新地1丁目3番17号 堂島北ビル	火災	1	0	3	24	28

大阪市消防(救急関連)のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	消 防 組 織 法 公 布	12 月 23 日消防組織法(法律 226 号)の公布により、消防は警察機構から分離して、市町村に移管され、市町村の責任管理のもとに運営されることとなった。
昭和 23 年 (1948)	市 議 会 で の 議 決 自 治 体 消 防 の 発 足 救 急 車 の 運 用 開 始 消 防 法 の 公 布 施 行	1 月定例市議会に、大阪市消防発足に伴う条例案及び受入準備案を上程可決し、同時に消防委員会を設置して、受入体制が完了した。 3 月、大阪市消防本部の設置、名称、組織及び管轄区域に関する条例を公布施行し、大阪市消防が発足した。 4 月、北消防署に救急車 1 台を置き、救急業務を開始した。 7 月、消防法(法律 186 号)が公布施行された。
昭和 25 年 (1950)	消 防 宝 く じ の 発 売	1 月、消防設備経費にあてるため、宝くじを発売し、その収益金で救急車 2 台を含む消防車両計 20 台を増強した。
昭和 28 年 (1953)	救 急 隊 に 関 す る 規 則 制 定	10 月、大阪市消防救急隊に関する規則を制定し、救急業務範囲が明確化された。
昭和 33 年 (1958)	搬 出 車 (O S - 2 4 型 救 出 車) の 運 用 開 始	7 月、大阪市消防救急隊に関する規則を廃止、大阪市消防救出隊に関する規則を制定。これにより、西、天王寺の各消防署に救出車(OS-24 型救出車)を配置した。
昭和 38 年 (1963)	救 急 業 務 の 法 制 化 消 防 法 施 行 令 改 正	4 月、消防法の一部改正により救急業務が法制化されたため 12 月に従来の「救出車」を「救急車」と名称変更し、車体の色を朱色から白色にもどし運用を開始した。発足当初は 7 隊であったが、増強して各署 1 隊計 21 隊となった。 12 月、消防法施行令の改正(令 44①)。救急自動車 1 台と救急隊員 3 人以上をもって編成。
昭和 39 年 (1964)	救 急 業 務 実 施 基 準 の 制 定 救 急 業 務 を 開 始	3 月、救急業務実施基準の制定。 4 月、昭和 38 年 4 月の消防法の改正に伴い“救急業務運用規定”を制定、市役所前で新型救急車(OS-41 型)を披露し、救急隊の発足式を行った。
昭和 42 年 (1967)	救 急 指 令 台 の 運 用 開 始	3 月、ワンタッチシステムの救急指令台が完成し、運用を開始した。
昭和 46 年 (1971)	救 急 車 の サ イ レ ン 切 替	7 月、救急車のサイレンをピーポー音に一斉切替した。
昭和 48 年 (1973)	機 構 改 革	4 月、警防部において救急係を救急課に昇格させた。
昭和 52 年 (1977)	消 防 局 別 館 (コ ン ピ ュ ー タ 棟) 竣 工	3 月、火災・救急指令業務自動化事業の一環として、コンピュータ機器一式及びこれに関連する通信機器、電気設備等を収容するコンピュー

昭和 53 年 (1978)	機 構 改 革 応 急 処 置 の 基 準 の 制 定 指 令 業 務 の 自 動 化 シ ス テ ム 運 用 開 始 消 防 法 施 行 令 の 一 部 改 正	<p>タ棟が完成した。</p> <p>4 月、警防部を計画課、司令課、救急課、機械課とした。</p> <p>7 月、応急処置の基準の制定。応急処置を行うことができる救急隊員は救急業務実施基準の 135 時間修了者に限定。</p> <p>10 月、全国初の火災・救急指令業務のコンピュータによる自動化システムが完成、運用を開始した。</p> <p>12 月、消防法施行令の一部改正（昭和 57 年 4 月施行）。救急隊員に一定の講習受講を義務づけ（令 44③）。</p>
昭和 56 年 (1981)	消 防 法 施 行 規 則 の 一 部 改 正	<p>12 月、消防法施行規則の一部改正（昭和 57 年 4 月施行）。令 44③に基づき 135 時間講習のカリキュラムを規定（則 51）。</p>
昭和 57 年 (1982)	「救急の日」の制定	<p>7 月、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年 9 月 9 日を「救急の日」とし、この日を含む 1 週間が「救急医療週間」として制定された。</p>
昭和 60 年 (1985)	救 急 隊 の 増 隊	<p>10 月、救急隊 1 隊を新たに大淀町出張所に配置、業務を開始した。</p>
昭和 61 年 (1986)	消 防 法 の 改 正	<p>4 月、消防法の改正により、事故以外の急病人も対象とするとともに、緊急避難としての応急手当を明文化。</p>
昭和 63 年 (1988)	機 構 改 革	<p>4 月、救急課を救急救助課とした。</p>
平成 3 年 (1991)	救 急 救 命 士 法 制 定 救 急 救 命 中 央 研 修 所 開 設 応 急 処 置 の 基 準 の 改 正	<p>4 月、救急救命士法制定</p> <p>8 月、救急救命中央研修所(救急アカデミー)開設。(台東区上野)</p> <p>8 月、応急処置の基準の改正（拡大 9 項目）。9 項目の実施には、250（115 +135）時間講習の受講が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防学校の教育訓練の基準の一部改正。専科教育の救急科にⅠ課程（135）とⅡ課程（115）を位置づけ。 ・救急業務実施基準の改正（第 6 条）。救急救命士とⅡ課程（115）の修了者をもって救急隊を編成するよう努めるものとする。
平成 4 年 (1992)	大 阪 市 救 急 教 育 セ ン タ ー の 竣 工 高 規 格 救 急 車 の 配 置 第 1 回 救 急 救 命 士 国 家 試 験	<p>3 月、救急救命士養成教育など、救急教育専用の施設として「大阪市救急教育センター」が消防学校内に竣工した。</p> <p>3 月、高規格救急車 1 台を西消防署に配置した。</p> <p>3 月、第 1 回救急救命士国家試験に、全国で 4,301 名が受験、3,177 名が合格。当局からは 41 名が受験し、全員合格した。</p>
平成 5 年 (1993)	救 急 救 命 中 央 研 修 所 が 改 称 救 急 救 命 東 京 研 修 所 が 移 転	<p>4 月、救急救命中央研修所が救急救命東京研修所に改称。</p> <p>10 月、救急救命東京研修所が移転(八王子市南大沢)。</p>

	高規格救急車を全署に配置	11月、市内全消防署に高規格救急車を配置。
平成6年 (1994)	各種救命講習制度がスタート	4月、市民に対する救命講習会及び指導員講習、普及員講習を開始。
平成7年 (1995)	救急救命九州研修所が開設	3月、救急救命九州研修所が開設。
平成8年 (1996)	高規格救急車導入率100% 大阪市患者等搬送事業者協会と協定を締結 救急隊2隊を増隊	1月、市内の全救急隊46隊が高規格救急車となった。 8月、大規模災害時の搬送業務にかかる協定を締結。 10月、救急隊2隊を増隊し、48隊体制となった。
平成9年 (1997)	救急隊1隊を増隊	7月、救急隊1隊を増隊し、49隊体制になった。
平成10年 (1998)	消防システム「ANSIN」運用開始 「大阪市救急情報サービス」開始 救急隊1隊を増隊	4月、消防車等の位置、動態を即時に把握する機能と、必要情報をデジタル無線を使用し送受信でさる機能を持ったシステム「ANSIN」を導入。 4月、市民からの救急に関する問い合わせに専用電話を使って応じる「大阪市救急情報サービス」を開始した。 10月、救急隊1隊を増隊し、50隊体制となった。
平成11年 (1999)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 タイ国・コンケン県へ職員派遣	5月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員2名を派遣した。 10月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員1名を派遣した。
平成12年 (2000)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 教育訓練の基準の一部改正	4月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員1名を派遣した。 I・II課程を統合した標準課程(250)を創設。
平成13年 (2001)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 機構改革 女性救急隊員配置	1月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員1名を派遣した。 4月、警防部を計画情報課、司令課、救急課、救助課の4課とした。 10月、女性救急隊員2名を天王寺消防署救急隊に配置した。

平成 14 年 (2002)	<p>タイ国・コンケン県へ職員派遣</p> <p>全国救急隊員シンポジウムの開催</p> <p>タイ国・コンケン県へ職員派遣 「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」報告書</p>	<p>1 月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員 1 名を派遣した。</p> <p>1 月、全国救急隊員シンポジウムを大阪国際会議場において開催した。</p> <p>3 月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。</p> <p>12 月、総務省消防庁と厚生労働省が共同で設置した検討会で、救急救命士の業務範囲拡大を認めるべき等の報告書がとりまとめられた。</p>
平成 15 年 (2003)	<p>救急救命士法施行規則の一部改正 市長村の救急業務実施義務制度廃止 e メールによる 119 番通報を開始</p> <p>タイ国コンケン県へ職員派遣 教育訓練の基準の全部改正</p>	<p>4 月、包括的指示下での除細動実施。</p> <p>6 月、消防法令に規定する市町村の救急業務実施に関する規定削除。</p> <p>8 月、e メールでの火災、救急等緊急通報の受信を開始した。</p> <p>11 月、国際協力機構(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。</p> <p>11 月、消防学校の教育訓練の基準の全部改正。Ⅰ課程とⅡ課程の区別を廃止し標準課程に一本化した上で、救急科に改称。</p>
平成 16 年 (2004)	<p>阿倍野防災センター竣工・業務開始</p> <p>非医療従事者による AED 使用開始</p> <p>救急救命士法施行規則の一部改正</p> <p>タイ国・コンケン県へ職員派遣</p>	<p>5 月、大阪市立阿倍野防災センターが竣工し、業務を開始した。</p> <p>7 月、非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)使用開始(厚生労働省通知)。</p> <p>7 月、救急救命士による気管挿管開始。</p> <p>11 月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。</p>
平成 17 年 (2005)	<p>タイ国・コンケン県へ職員派遣</p> <p>消防力の整備指針の制定</p>	<p>2 月、国際協力機構(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員 1 名を派遣した。</p> <p>6 月、消防力の整備指針の制定(消防力の基準を全部改正)。転院搬送の場合は救急隊員 2 名と医師等 1 名で可。消火活動に影響ない範囲で消防隊との兼務が可。</p>
平成 18 年 (2006)	<p>救急救命士法施行規則の一部改正</p> <p>AED(自動体外式除細動器)を全署に設置</p>	<p>4 月、救急救命士による薬剤投与開始。</p> <p>9 月、市内全消防署・出張所に AED(自動体外式除細動器)を設置した。</p>
平成 19 年 (2007)	<p>救急隊 5 隊を増隊</p> <p>救急隊 4 隊を増隊</p>	<p>4 月、救急隊 5 隊を増隊し、55 隊体制になった。</p> <p>10 月、救急隊 4 隊を増隊し、59 隊体制になった。</p>

平成 20 年 (2008)	救急隊 1 隊を増隊	3 月、救急隊 1 隊を増隊し、60 隊体制になった。
平成 21 年 (2009)	「救急救命処置の範囲等について」の一部改正 消防法の一部改正 大阪市救急安心センターの開設	3 月、救急救命士によるエピペン投与。 5 月、消防法の一部改正（平成 21 年 10 月 30 日施行）。傷病者の救急搬送及びその受け入れをより適切かつ円滑に行うため、都道府県ごとに「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」を策定することなどが義務付けられた。 10 月、国のモデル事業として、指令情報センター内に相談員及び看護師が医師の支援体制のもと救急医療相談に応じる「大阪市救急安心センター」が開設された。
平成 22 年 (2010)	救急安心センター事業の拡大	4 月、名称を「救急安心センターおおさか」に変更し、隣接する 15 市との共同運営を開始し、同年 12 月から翌年 3 月までは国のモデル事業として、対象エリアを大阪府内全域（33 市 9 町 1 村）に拡大した。
平成 23 年 (2011)	救急安心センターの共同運営	4 月、大阪府内全市町村（33 市 9 町 1 村）が共同して救急安心センターおおさかを運営。
平成 24 年 (2012)	機 構 改 革 ウェブサイト開設 救急救命士の処置拡大	4 月、救急施策の企画執行体制強化するために、救急部が創設された。 10 月、応急手当を受講しやすい体制とし繰り返し学べるよう、専用の WEB サイト「ボジョレーに教わる救命ノート」を開設した。 12 月、救急救命士によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始。
平成 25 年 (2013)	救急搬送支援システム全隊運用 救急資器材管理供給業務（SPD）開始	2 月、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える、スマートフォンを用いた「救急搬送支援システム」を全隊で運用開始した。 4 月、救急隊が使用する物品の選定、調達・購入方法の設定、発注から在庫・払出・使用・消費・補充に至る一連の物品の流れ（物流）、取引の流れ（商流）及び情報の流れ（情報流）を物品管理システムを使い一元管理する「救急資器材管理供給業務（SPD）」を開始した。
平成 26 年 (2014)	救急救命士の処置拡大	10 月、救急救命士による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与開始。
平成 27 年 (2015)	小児救急支援アプリ（大阪市版）運用開始	9 月、スマートフォン専用アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を開発し、大阪市内を対象地域として、9 月 9 日から運用開始。
平成 28 年 (2016)	小児救急支援アプリ（大阪府版）運用開始	4 月、小児救急支援アプリを救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大。

平成 29 年 (2017)	救急隊 3 隊を増隊	4 月、救急隊 3 隊（うち 1 隊を本部救急隊として運用）を増隊し、63 隊体制になった。
平成 30 年 (2018)	指導救命士運用開始 救命サポートアプリ 運用開始	5 月、救命士等の教育等を担当する指導救命士を運用開始。 4 月、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当を実施することができる「救命サポートアプリ」の運用を開始した。
令和元年 (2019)	救急隊 1 隊増隊	10 月、救急隊 1 隊（旭第 2 救急隊）を増隊し、64 隊体制になった。
令和 2 年 (2020)	救急隊 5 隊増隊	4 月、救急隊 3 隊（うち 1 隊を本部第 2 救急隊として運用）を増隊。 10 月、救急隊 2 隊増隊し、69 隊体制になった。
令和 3 年 (2021)	救急隊 1 隊増隊	10 月、本部第 3 救急隊を増隊。本部第 3 救急隊をデイトタイム救急隊として運用開始し、70 隊体制になった。

印刷用の紙にリサイクルできます。